

# 富山県総合計画 新・元気とやま創造計画

みんなで創ろう！人が輝く高志の国  
—— 活力、未来、安心のふるさと ——





## 元気な富山県の実現に向けて

少子高齢化・人口減少の進行、世界における日本の経済的地位の低下、東日本大震災の発生など、本県を取り巻く社会経済情勢は、大きくかつ急速に変化しています。

一方、県内では、間近に迫った北陸新幹線の開業、環日本海・アジア地域との経済交流の拡大、医薬品産業の躍進など、本県が一層の発展を遂げるための新しい動きが始まっています。県では、こうした状況変化や重要な課題に的確に対応するため、幅広く県民の皆さんのご意見をお聴きしながら、概ね10年後を見据えた県づくりの指針として新しい総合計画「新・元気とやま創造計画」を策定しました。

この新しい計画の目標をみんなで共有しながら必要な取組みを進めることで、私たち一人ひとりが幸せを実感でき、また高い志を胸に、夢と希望を持っていきいきと働き、安心して暮らせる元気な富山県を実現したいと考えています。

平成24年8月

富山県知事 石井 隆一



# 総合計画策定の趣旨

県では、社会経済状況の変化や県政の重要課題に的確に対応するとともに、本県の進むべき道筋を明確にし、県民誰もが将来への夢と希望を持っていきいきと働き、安心して暮らせる富山県を実現するため、県政運営の新たな中長期ビジョンとして、2021（平成33）年度を目標年次とする新しい総合計画「新・元気とやま創造計画」を策定しました。

この計画では、次のような富山県の目指すべき将来像を描き、その実現に向けて、みんなで力を合わせて元気な県づくりを進めることとしています。

## 富山県の目指すべき将来像

活力とやま	未来とやま	安心とやま
勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた自然、交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲ある取組みが展開されている「活力」あふれる県	明日を担う人材が健やかに育まれ、多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている「未来」への希望に満ちた県	豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で「安心」して暮らせる県

## 計画の基本理念（目標）

みんなで創ろう！ 人が輝く こし くに 高志の国  
——活力、未来、安心のふるさと——

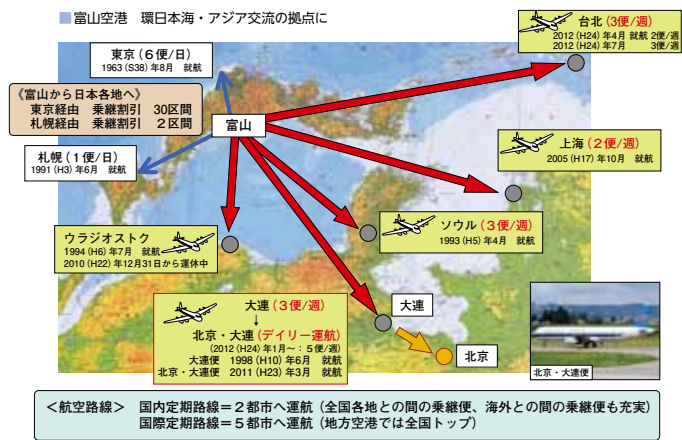


目次	
総合計画策定の趣旨	2
富山県における状況変化	3
目指すべき将来像	4
目指すべき将来像の実現に向けた政策	5
5つの重点戦略	6
60の基本政策（政策の体系）	11
基本政策を支える重要政策「人づくり」	33
地域別の特性と取組み	35
とやま夢構想	36
県政運営の基本姿勢	37
計画の実効性の確保と推進	37

# 富山県における状況変化

## 1 陸・海・空の交流基盤の整備充実

開業が間近に迫る北陸新幹線、2008（平成20）年に全線開通した東海北陸自動車道、日本海側の「総合的拠点港」に選定され航路の充実・クルーズ客船の誘致を推進する伏木富山港、そして、北京便や台北便が新たに就航し利便性が大きく向上した富山空港など、陸・海・空の交流・物流ネットワークの整備が着実に進められています。今後は、三大都市圏から等距離にある地理的優位性や陸・海・空のネットワークを活かし、環日本海・アジア地域の交流、物流拠点として発展していくことが期待されています。



## 2 世界経済の大きな変化と県内産業の新たな動き

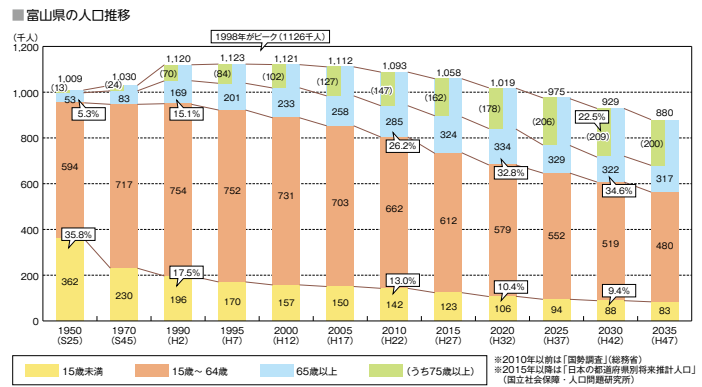
2008（平成20）年秋以降の世界同時不況は県内産業にも大きな影響を及ぼし、本県の経済は、なお厳しい状況を脱するまでには至っていません。一方、医薬品産業の躍進、ロボットや航空機等の新たな成長産業への挑戦など、本県産業の新たな動きもみられるところです。今後、グローバル競争や地域間競争が一層激化することが見込まれますが、中国、インド、東南アジアなど発展著しい新興国のダイナミズムを取り込みながら、本県がどのように発展していくのか、という視点に立って、産業経済政策を進めていく必要があります。

## 3 少子高齢化・人口減少社会とふるさと志向

本県の人口は1998（平成10）年の112万6千人をピークに減少しており、2030（平成42）年には約93万人になると見込まれています。また、65歳以上の高齢者の数はここ10年間で約5万人増加し、2020（平成32）年頃にピークを迎えると見込まれます。

こうした少子高齢化・人口減少社会の到来を迎え、子育て支援・少子化対策を強化するとともに、若者の県内定着の促進や女性が能力を十分に発揮できる環境、元気な高齢者が意欲と能力に応じて社会で活躍できる環境を整備することが重要となっています。

また、グローバル化が進み社会情勢が大きく変動する現代社会においては、県民一人ひとりがふるさとに誇りと愛着を持ち、自らのアイデンティティを持って生きていくことが大切です。



## 4 大震災の教訓を活かした県づくり

東日本大震災は、従来の想定を超える大きな被害をもたらしましたが、これを教訓と受け止め、比較的災害が少なく安全・安心な県といわれている本県においても、地震災害や原子力災害への対策について基本的な見直し・充実が求められています。

# 目指すべき将来像 ～2020年代初頭に期待される富山県の姿～

概ね10年後には、以下のような「元気な富山県」が実現されるよう計画を推進します。

勤勉で進取の気性に富む人材、

恵まれた自然、交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、  
創意工夫、意欲ある取組みが展開されている

## 「活力」あふれる県

例えば

- ものづくり産業や医薬品産業が力強く本県経済を牽引するとともに、次世代自動車や航空機など、新たな成長産業が生まれています。
- 環日本海・アジア地域の拠点として、高速道路網や新幹線、富山空港、伏木富山港を活用した人、モノの交流が活発に行われています。
- 本県の魅力が評価され、国内外から多くの観光客が訪問・滞在しています。
- 国内外から数多くの企業が本県に進出し、多様な雇用の機会が確保されています。



明日を担う人材が健やかに生まれ、

多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている

## 「未来」への希望に満ちた県

例えば

- 仕事と子育てが両立できる職場づくりが進むなど、子どもを生み、育てやすい環境が整備され、子どもや若者が健やかに成長しています。
- 多くの県民が「ふるさと」についての理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を持って地域社会や国際社会で活躍しています。
- 若者、女性、元気な高齢者がそれぞれ企業や地域等で活躍しています。
- NPOやボランティアが「新しい公共」の担い手の一つとなって、地域の活性化に貢献しています。



豊かな自然や生活環境を活かし、

住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で

## 「安心」して暮らせる県

例えば

- 住み慣れた地域において、質の高い医療・福祉が提供され、誰もが自立し、共に支え合う共生社会が形成されています。
- 小水力発電など再生可能エネルギーの導入が盛んで、エネルギー源の多様化が進み、エネルギー需給は安定しています。
- 地震・津波災害や原子力災害への対策が充実し、安全なまちづくりが地域ぐるみで行われるなど、「日本一安全・安心な県」としての評価が高まっています。



# 目指すべき将来像の実現に向けた政策

## 1 60の基本政策と重要政策「人づくり」

目指すべき将来像の実現に向け、60の基本政策を設定し、「活力とやま」「未来とやま」「安心とやま」の3つを政策の柱として体系化します。

さらに、これらの政策の実施により元気な富山県を創っていくにあたり、最も重要なのは「人」であることから、「人づくり」を基本政策を支える重要政策として位置づけ、子どもから大人まで、それぞれの成長段階に応じた取組みを展開します。



## 2 県民の幸福度を高める政策展開

政策の展開にあたっては、県政の最終的な目標は県民の幸せの充実であり、県民の幸福度を高めるための環境整備を図ることが県政の使命であるという原点を忘れずに取り組むことが重要です。また、その際には、今を生きる県民の幸福度のみでなく、次の世代の県民の幸福度も高めていくという視点を大切にする必要があります。今後、県民の幸福度を高めるための政策を積極的に展開し、日本で最も幸せを実感できる県として評価されるよう、不断の努力を続けていきます。

## 3 5つの重点戦略

県民にとって緊要度が高く、最優先に取り組むべきものを「重点戦略」として5つ厳選し、政策のメリハリをもたせて計画を推進します。

「重点戦略」は、政策体系を越えた横断的な取組み（複数の政策の取組みを横断的、有機的にとらえたもの）として、効果的、戦略的に展開することとしています。

- 重点戦略 1 グローバル競争を勝ち抜く環日本海・アジア戦略
- 重点戦略 2 少子高齢化・人口減少社会における活力創造戦略
- 重点戦略 3 災害に強い「日本一の安全・安心県」戦略
- 重点戦略 4 環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」戦略
- 重点戦略 5 いつまでも、みんな元気「健康先進県」戦略

# 5つの重点戦略

## 戦略 1 グローバル競争を勝ち抜く環日本海・アジア戦略

本格的な環日本海・アジアの時代の到来を見据え、中国、ロシア、東南アジア、インドなどの新興国の旺盛な需要を獲得しつつ、県内では、ものづくり産業の高度化を進め、付加価値の高い製品を創り出す取組みを進めることにより、本県産業の持続的な発展と国際競争力の向上を目指します。

### グローバル競争を勝ち抜く環日本海・アジア戦略

#### 現状と課題

- ▶ 中国、ロシア等の新興国が著しい経済成長を遂げており、本県経済にとって新興国の成長エネルギーを取り込む絶好のチャンスが到来。
- ▶ 県内にコアとなる技術を持ちながら、絶えざるイノベーションによってものづくり産業の高度化を進め、海外で勝負できる付加価値の高い製品を創り出すことが不可欠。

#### 戦略の展開方向

- ▶ 県内において研究開発拠点や高付加価値拠点の集積やブランド力の強化を図ると同時に、環日本海・アジア地域においては、本県企業の積極的な海外展開を推進する。
- ▶ 海外からの収益を県内拠点に再投資し、さらなる産業の高度化につなげ、本県産業と環日本海・アジア地域が共に繁栄する「WIN-WIN」の関係を構築する。
- ▶ 交通・物流ネットワークの整備やグローバル人材の育成などの必要な基盤整備を図る。

#### 戦略の体系



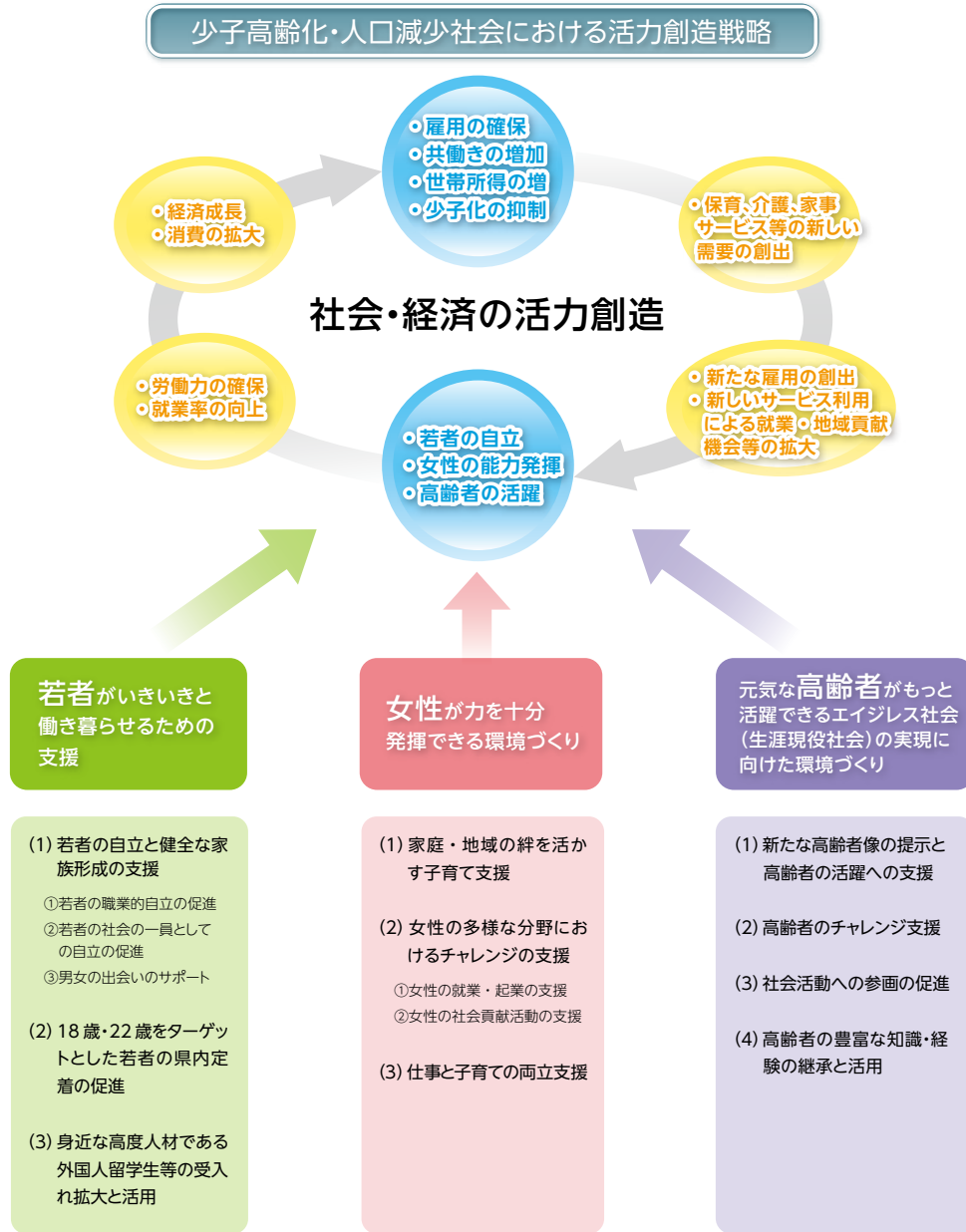
## 本県産業の持続的な発展・国際競争力の向上

#### この重点戦略における主な取組み

「とやまものづくりパーク」の体制整備による海外展開サポート	● アジア新興国における貸工場を活用した中小企業の海外展開拠点「とやまものづくりパーク」の体制整備と県内中小企業の入居支援
世界市場への展開を目指した医薬品の製造技術力・製剤開発力の強化	● バイオ・高活性医薬品（抗がん剤）など高付加価値医薬品の製造技術支援、医療現場のニーズに合った医薬品開発、薬事研究所のコーディネート機能の充実、バーゼルとのシンポジウムの開催 など
ものづくり研究開発センターを核とした最先端ものづくり拠点形成構想	● 世界的競争力を持つ製品の開発を目的とした、ナノテクノロジー分野などにおける次世代基盤技術形成に関する研究開発、世界的研究者との研究会等による交流（国内外の研究機関との連携や研究者の招へい） など
環日本海物流ゴールデンルート構想	● 上海港、ウラジオストク港などとの「直行・多頻度・定時」の航路開拓等による、対岸諸国との国際物流ネットワークの強化 など
「日本海側拠点港」伏木富山港の機能強化	● 大型船舶が接岸できるコンテナターミナルの2バース化、既設岸壁の耐震化、大型クルーズ客船に対応した岸壁の整備、環日本海クルーズ推進協議会の設置による環日本海クルーズの振興 など

## 戦略 2 少子高齢化・人口減少社会における活力創造戦略

少子高齢化・人口減少社会に対応するため、若者が県内に定着し、自立して家族を形成するとともに、若者、女性、高齢者が貴重な働き手として活躍できるような環境づくりに取り組みます。あわせて、それぞれのパワーが地域コミュニティ活性化の原動力としても活かされ、人口減少の時代にあっても、経済社会、地域社会の両面で活力が持続的に創造されていく県づくりを目指します。



### この重点戦略における主な取り組み

「とやま出会いサポート」施策の推進	● 出会いコーディネーターの設置、出会いイベントの支援、結婚を希望する男女を対象としたコミュニケーション能力向上等のセミナーの開催 など
多様な保育サービスの充実	● 延長保育、休日保育、病児・病後児保育等の一層の充実
働く女性に対する総合的な支援	● 女性が仕事と家事・育児を両立し、意欲をもってキャリアを切りひらくための支援（キャリアアップ・再就職・起業への支援 など）
高齢者の活躍の促進	● エイジレス社会の実現に向けた「65歳以上は老人」意識の転換のための普及啓発や社会活動への参加の促進 ● 「とやまシニア専門人材バンク」の設置などによる高齢者人材の活用促進 など



## 戦略 3 災害に強い「日本一の安全・安心県」戦略

集中豪雨、高波、大雪、地震、津波や原子力災害といった災害への十分な備えを行い、県民の生命・身体・財産を守るため、災害に強い「日本一の安全・安心県」を目指した総合的な戦略を展開します。

### 災害に強い「日本一の安全・安心県」戦略

#### 1 東日本大震災の教訓

##### 東日本大震災の発生

新たな問題の顕在化

##### 「想定」を超える災害

- 想定を超える規模
  - ・想定を超える震度・津波高
- 想定を超える広域性
  - ・東北関東全域にわたる被害の拡大（災害救助法適用(10都県)）
  - ・数十万人の被災者、数十万戸の建物被害
  - ・ライフライン・インフラ等の大規模な被害

##### 複合的な災害

- 地震による津波の発生
- 原子力発電所事故の発生

災害時の被害を最小化する「減災」の考え方が重要

#### 2 戦略の展開

##### 災害予防から復旧までの対策の強化

##### 1. 防災・減災のための体制づくり

- (1)行政・県民・企業による防災体制づくり
- (2)災害情報伝達機能の強化
- (3)災害に備えた避難場所・物資の確保
- (4)災害時における医療保健体制の整備
- (5)災害時要援護者(高齢者、障害者など)の安全確保
- (6)津波対策の充実
- (7)原子力災害対策の確立(国のUPZ等の設定を踏まえた安定ヨウ素剤の備蓄等)

##### 2. 災害に強い県土づくり

- (1)公共土木施設等の整備充実
- (2)広域消防防災センター等の防災機能の強化
- (3)警察基盤の充実・強化
- (4)公的施設(医療機関・学校)の防災機能の充実
- (5)木造住宅の耐震化の促進や市街地の防災機能の充実

災害への備え

災害発生

##### 3. 命や健康をまもる応急対策

- 災害医療体制の充実
- 被災者の健康を守る体制の整備等

##### 4. 生活再建のための復旧対策

- 被災者の生活再建支援、就労支援
- 被災企業への資金供給

災害に強い「人」

##### 5. 災害に対応できる人づくり

- (1)消防職員や消防団員など防災専門人材の育成
- (2)幼い頃からの防災教育の充実(広域消防防災センターを活用した幅広い防災教育)
- (3)地域防災力の強化(自主防災組織の強化や災害救援ボランティアコーディネーターの育成)

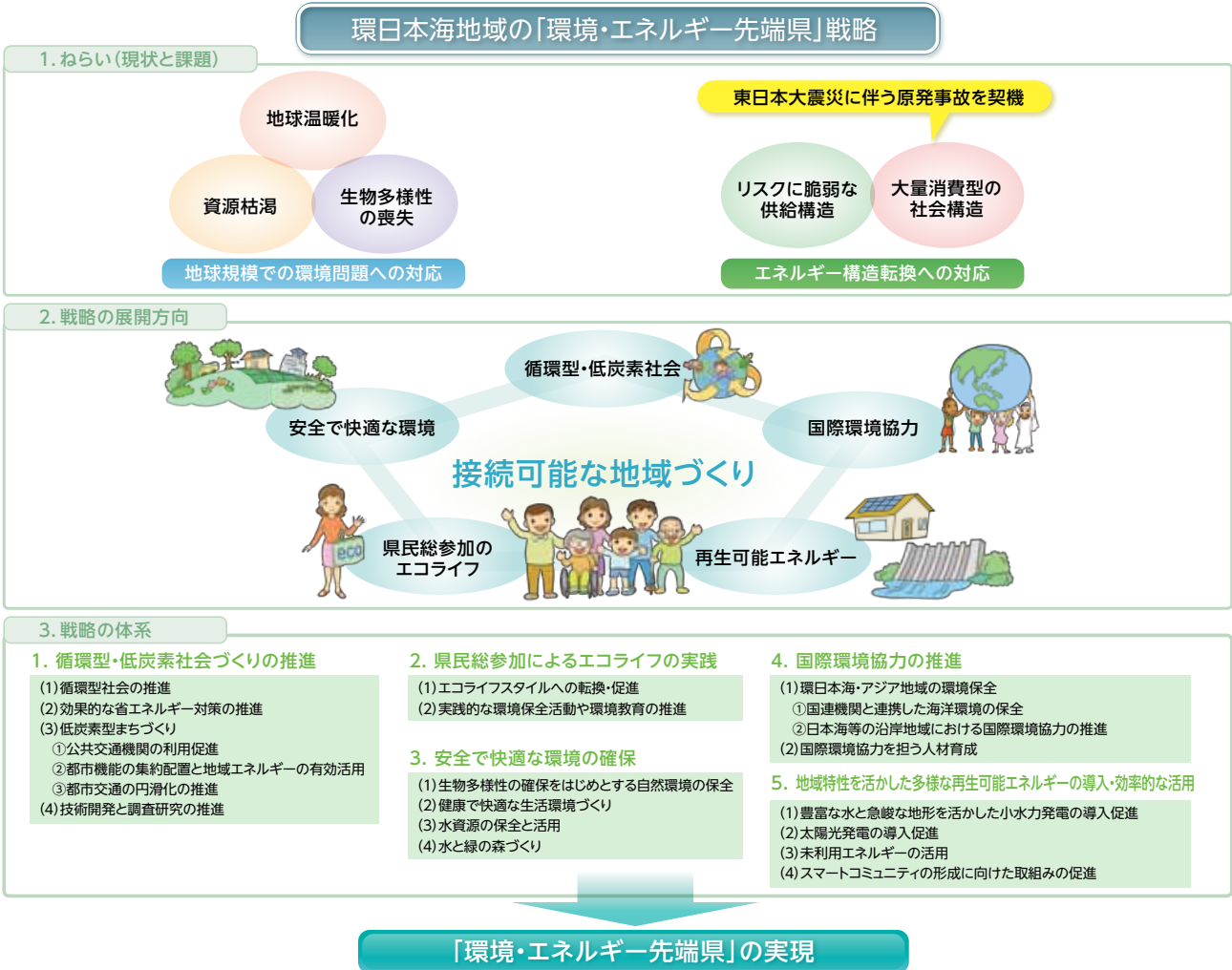
災害に強い日本一の安全・安心県の実現

#### この重点戦略における主な取組み

東日本大震災を教訓とした津波対策	●沿岸市町における津波ハザードマップ作成支援、自主防災組織による津波避難訓練や津波対策資機材整備への支援、海拔表示・津波避難誘導標識の設置、地域防災計画や国の新たな技術基準を踏まえた海岸保全施設の津波対策
原子力災害対策の抜本的強化	●国におけるUPZ等の設定を踏まえた、安定ヨウ素剤の備蓄、SPEEDI端末整備、防災訓練、県民向け広報、防災関係者研修等の実施
土木施設、学校、建築物の耐震化の推進等	●公共土木施設や農業水利施設の地震対策の充実、災害拠点病院の耐震化・医療機器等整備による災害医療拠点機能の充実、学校の耐震化、モデル校における緊急地震速報受信システムの導入、木造住宅の耐震化の推進
災害に備えた自助・共助の強化	●広域消防防災センターを活用した消防職団員の実践訓練や子どもたちをはじめとする幅広い県民を対象とした防災教育の実施、医療人材の育成・DMATの機能強化など災害医療体制の整備、モデル校における先進的・実践的な防災教育の推進やその普及啓発による学校における防災教育の充実、警察署の耐震化・災害警備用装備資機材の整備等による災害に強い警察基盤の充実

## 戦略 4 環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」戦略

豊かな自然に恵まれ、小水力発電など再生可能エネルギーの導入が進んでいるといった本県の特徴を活かし、将来にわたって持続可能な地域づくりに向けた取組みを実践することによって、良好な環境を保全するとともに、環境に優しい再生可能エネルギーを創造し、環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」の実現を目指します。

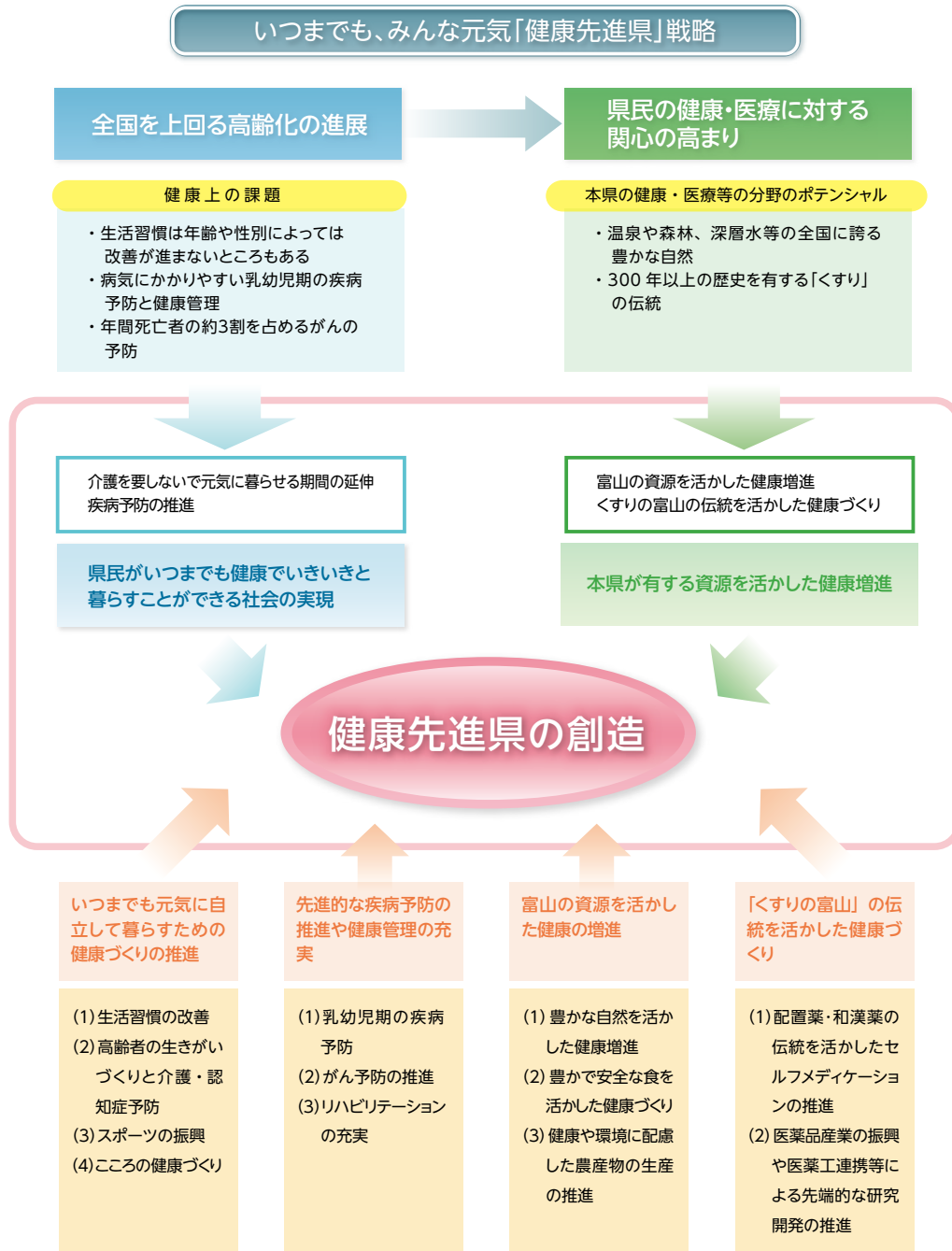


### この重点戦略における主な取組み

持続可能な地域づくりに向けた県民運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生ごみの減量・活用に向けた事業系生ごみの広域的リサイクルの検討やエコ・クッキングの普及啓発</li> <li>● 自主的な節電の取組みを促すウェブサイト上での「メガ節電所」の開設</li> </ul>
恵みの水が美しく循環する“水の王国とやま”の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に根ざした節水活動を促す「地下水の守り人」の養成と守り人バンクへの登録</li> <li>● 地域ぐるみでの地下水涵養(かんよう)の推進の仕組みづくりとモデル事業の実施</li> <li>● 深層水関連商品の開発や販路開拓の支援と「富山の深層水」ブランドの確立</li> </ul>
県立イタイタイ病資料館を活用した環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立イタイタイ病資料館での資料継承、教育啓発、情報発信、環境施策等の紹介</li> </ul>
小水力発電所整備の加速化と技術開発等の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小水力発電所の整備推進(2021&lt;H33&gt;年度までに新たに12か所以上)</li> <li>● 新たな建設可能地点調査や農業用水の落差工の調査によるさらなる候補地の発掘</li> <li>● 実証実験等によるマイクロ水力発電等の技術開発の支援や浄化センターの未利用エネルギーを活用したマイクロ水力発電設備の設置</li> <li>● 小水力発電所整備における県内企業の参入機会の拡大</li> </ul>
太陽光発電等の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅用太陽光発電システムの導入促進や再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入支援</li> <li>● メガソーラー候補地及び民間事業者の公募の検討</li> </ul>
スマートコミュニティ関連産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ものづくり研究開発センターを活用した環境・エネルギー関連技術の開発支援</li> <li>● スマートコミュニティの実証実験によるエネルギーの効率利用システムの開発</li> <li>● 中小企業におけるエネルギー管理システムの導入</li> </ul>

## 戦略 5 いつまでも、みんな元気「健康先進県」戦略

豊かな自然、安全でおいしい食、「くすり」の伝統に裏打ちされた医薬バイオ分野での研究開発など、本県の有する優れた基盤等を活かしながら、健康増進に関する研究や、医薬品産業の育成、ライフサイエンス分野の研究開発を促進し、「健康先進県」の創造を目指します。



### この重点戦略における主な取組み

効果的で精度の高いがんの検診手法等の導入促進	●最新のCT検査による肺がん検診の強化、子宮頸がん検診でのHPV検査、胃がん検診でのピロリ菌検査などのがん検診の導入促進など
高度専門的医療の提供と関係機関の連携による地域リハビリテーションの推進	●新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター（仮称）の整備、地域で生活する障害者や高齢者、障害児などの様々な状態に応じたプログラムの提供と本人や家族を支援する関係機関の連携による地域リハビリテーションの推進など
県民の健康を支える医薬品等の製造技術力・製剤開発力の強化	●バイオ・高活性医薬品（抗がん剤）など高付加価値医薬品の製造技術支援、医療現場のニーズに合った医薬品開発、県薬事研究所のコーディネート機能の充実など

# 60の基本政策（政策の体系）

## 活力とやま（21政策）

I 競争力のある力強い産業の振興	
1	新たな成長産業の育成
2	未来を拓く起業チャレンジへの支援
3	産学官連携によるものづくり産業の高度化
4	企業立地の促進
5	中小企業の振興
6	デザインの振興と活用
7	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり
8	雇用の確保と人材の育成
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進
10	農業生産の振興
11	森林の整備と林業の振興
12	水産業の振興

II 環日本海・アジア新時代に向けた交流・物流ネットワークの形成	
13	北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり
14	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成
15	利便性の高い道路ネットワークの整備
16	情報通信基盤の充実と活用
III 活力あるまちづくりと観光の振興	
17	快適で活力ある魅力的なまちづくり
18	中心市街地の賑わいの創出
19	選ばれ続ける観光地づくり
20	国際観光の推進
21	富山のブランドカアップ

## 未来とやま（19政策）

I 未来を創る子育て支援と教育の充実	
1	家庭・地域・職場における子育て支援
2	学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援
3	子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進
4	子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進
5	大学教育・学術研究・科学技術の振興
6	生涯をととした学びの推進
7	ふるさとを学び楽しむ環境づくり
II 一人ひとりが輝く多彩な県民活動の推進	
8	芸術文化の振興
9	多様な主体による社会貢献活動の推進

10	若者の自立促進とチャレンジ支援
11	男女共同参画の推進と女性の能力の発揮
12	元気な高齢者の活躍の場の拡大
13	人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成
14	グローバル社会における地域づくり・人づくり
III ふるさとの魅力を活かした地域づくり	
15	交流人口の拡大、定住・半定住の促進
16	自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見
17	地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり
18	農山漁村の活性化
19	豊かな森づくり・花と緑の地域づくり

## 安心とやま（20政策）

I いのちを守る医療・福祉の充実と健康づくり	
1	地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成
2	医療提供体制の充実
3	健康づくりと疾病対策の推進
4	高齢者福祉の充実
5	障害者福祉の充実
6	食の安全確保と地産地消・食育の推進
7	スポーツの振興
II 次世代へつなぐ豊かで快適な環境の保全とエネルギー対策の推進	
8	循環型社会と低炭素社会づくりの推進
9	自然環境の保全
10	生活環境の保全

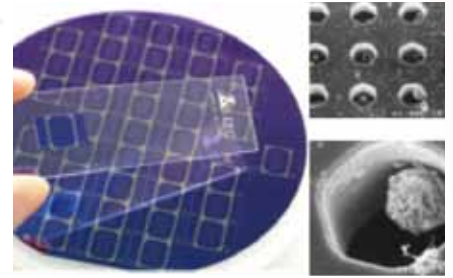
11	水資源の保全と活用
12	多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保
III 災害に強い県土づくりと安全・安心な生活の確保	
13	生活交通の確保
14	住生活の向上
15	雪に強いまちづくり
16	県土保全の推進
17	防災・危機管理体制の充実
18	地震防災対策の充実
19	防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり
20	消費生活の安全の確保

## 活力 1 新たな成長産業の育成

**政策目標** 新たな時代に対応し、高いものづくり技術や産業集積などの富山県の強みを活かしてイノベーションが次々と起こり、県内企業が新たな成長産業への参入に挑戦していること。

### 主な施策

医薬・バイオなどの健康関連産業の育成（ライフイノベーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 戦略的創造研究事業（ERATO）などの最先端の研究の促進</li> <li>● 医薬品産業の振興、医薬工連携の取組みへの支援</li> </ul>
環境・エネルギー関連産業の育成（グリーンイノベーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代自動車関連産業への参入の支援</li> <li>● 再生可能エネルギー関連技術や商品の開発支援</li> </ul>
先端ものづくり産業の育成（航空機産業、ロボット産業など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナノテクノロジーに関する研究開発の推進</li> <li>● 航空機産業への参入の促進</li> <li>● 新たなロボット産業の育成</li> </ul>



抗体作製用細胞チップ

参考指標		
バイオ関連商品の年間売上高		
5年前	現況	10年後
18.6億円 2006 (H18)	45.9億円 2010 (H22)	90億円

## 活力 2 未来を拓く起業チャレンジへの支援

**政策目標** 起業にチャレンジする県民が増えるとともに、多様な起業家が生まれ、成長し、国内外で意欲的に事業展開していること。

### 主な施策

起業マインドの醸成と起業家の育成（潜在・準備期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生、大学生等に対する企業経営者の講演やインターンシップの実施</li> <li>● 「とやま起業未来塾」による起業支援</li> </ul>
事業資金や販路開拓への支援（スタートアップ期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インキュベーション施設の提供、インキュベーションマネージャーの指導・助言などの支援</li> <li>● 設備投資資金や運転資金の融資</li> <li>● 新製品を県が購入するトライアル発注による販路開拓支援</li> </ul>
販路拡大への支援（成長期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 独自技術や新商品の開発・実用化への支援や商談会の開催等</li> <li>● 経営革新計画の策定指導や計画推進の支援</li> </ul>



「とやま起業未来塾」修了生による理学療法を用いた地域の介護予防

参考指標		
とやま起業未来塾修了生創業済者数（うち海外進出者）		
5年前	現況	10年後
19名(0名) 2005 (H17)	95名(2名) 2010 (H22)	215名 (12名)

## 活力 3 産学官連携によるものづくり産業の高度化

**政策目標** 産学官共同研究や大学等から企業への技術移転により、様々な分野において新技術や新商品が数多く開発、実用化されるとともに、本県のものづくり技術が高度化し、産業の競争力が強化されていること。

### 主な施策

産学官連携体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内企業の技術ニーズと大学等の技術シーズとのマッチングの促進</li> </ul>
産学官共同研究開発の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ものづくり研究開発センターの最先端設備を活用した産学官共同研究の推進</li> <li>● 国等の資金を活用した大型共同研究プロジェクトの推進</li> </ul>
知的財産の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山大学のTLO（技術移転機関）等による技術シーズの発掘と企業ニーズとのマッチングを通じた技術移転の促進</li> <li>● 中小企業等の特許取得経費に対する助成や特許活用に対する相談体制の充実</li> </ul>
開放型研究施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ものづくり研究開発センターなど、開放型研究施設による新技術・新製品開発の支援</li> </ul>
ものづくり技術を支える人材（研究者・技術者）の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期インターンシップや最先端技術研修など、高度なものづくり人材の育成</li> <li>● 次世代基盤技術形成に関する世界的研究者等との交流</li> </ul>



富山県ものづくり研究開発センター

参考指標		
年間産学官共同研究件数		
5年前	現況	10年後
211件 2005 (H17)	329件 2010 (H22)	385件

## 活力 4 企業立地の促進

**政策目標** 企業の立地環境が一層充実し、成長性が高く地域経済の発展に貢献する企業が、数多く富山県に進出してきていること。

**主な施策**

魅力的な企業立地環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北陸新幹線や高速道路、港湾、空港などの整備促進</li> <li>●工業団地や工業用水、情報通信網、産官学連携による企業支援体制の整備</li> </ul>
積極的な企業誘致活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成長性の高い先端分野の産業等の企業誘致の推進</li> <li>●企業の研究開発拠点やマザー工場、本社機能の誘致の推進</li> <li>●企業立地セミナーや交流商談会の開催</li> <li>●企業ニーズに応じたオーダーメイド型の企業誘致の展開</li> </ul>
県内立地企業に対する総合的な支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県内企業のニーズに対応した助成制度の整備</li> <li>●地元企業との連携強化、人材の確保・育成面での連携など、地域と一体となった取組みの推進</li> </ul>



交流商談懇談会の開催

参考指標		
工場立地件数(暦年)		
5年前	現況	10年後
32件 2005(H17)	14件 2010(H22)	30件

## 活力 5 中小企業の振興

**政策目標** 本県産業を支える中小企業が、社会の変化に伴う新たなニーズに的確に対応し、柔軟性を発揮しながら、活発に企業活動を展開していること。

**主な施策**

中小企業支援体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●富山県中小企業振興基本条例(仮称)の制定</li> <li>●企業の研究開発や知的財産権の保護から事業化、販路開拓までの総合的な支援</li> </ul>
新事業展開への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域における新たな連携や商品のブランド力強化のための取組みへの支援</li> <li>●地域資源の活用や農商工連携による新商品・新サービスの開発と販路開拓への支援</li> </ul>
資金面の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成長分野への進出等に取り組む中小企業の資金調達への支援</li> </ul>
海外における販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外での見本市、商談会への出展等への支援</li> </ul>
人材の育成と確保への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統的工芸品産業における後継者の確保、技術・技法の継承への支援</li> <li>●高度熟練技能者による技能の継承や後継者育成の促進</li> </ul>
伝統産業等地域に根ざした産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン性に優れた商品づくりや、ブランド力の向上など、需要開拓の取組みへの支援</li> </ul>



児童による伝統的工芸品の製作体験

参考指標		
県内中小企業(製造業)の付加価値額		
5年前	現況	10年後
8,799億円 2007(H19)	6,299億円 2009(H21)	8,900億円

## 活力 6 デザインの振興と活用

**政策目標** デザイン性に優れ、高機能で、消費者の感性に合致した製品が数多く開発され、販路が開拓されていること。

**主な施策**

デザインを切り口とした魅力的な商品の共同開発と販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合デザインセンターを中心としたデザイン相談や商品の共同研究・開発の推進</li> <li>●「富山プロダクト」選定製品の国内外へのPR・販売促進の支援</li> </ul>
デザイン交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン先進地のイタリア・ミラノ等との交流活動の支援</li> <li>●全国のデザイナーとの交流促進やビジネスマッチング機会の提供</li> </ul>
デザイン意識の啓発と人材育成の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイナーの開発力向上や企業内デザイン人材の育成</li> <li>●企業経営者等に対するセミナーの開催など、戦略的にデザインを活用する人材の育成</li> </ul>



越中富山お土産プロジェクトから生まれた商品

参考指標		
「富山プロダクト」選定商品件数(累計)		
5年前	現況	10年後
54件 2005(H17)	131件 2010(H22)	300件

## 活力 7 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり

### 政策目標

地域の特色を活かした魅力あふれる商店街が賑わっているとともに、様々な分野において新しいニーズに対応したサービス業が活発に展開されていること。

### 主な施策

地域の個性を活かしたまちの賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりに対する支援</li> <li>魅力ある水辺のまちづくり活動に対する支援</li> </ul>
魅力ある商店街づくり、商店街の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村の中心市街地活性化基本計画等の事業の実施に対する支援</li> <li>商店街が実施する賑わいづくりや活性化を図る取組みに対する支援</li> <li>商店街を担うリーダーの育成に対する支援</li> </ul>
商業者の経営革新への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の個別課題の解決のための専門家の派遣</li> <li>経営のIT化やネットビジネスなどの促進</li> </ul>
新たなニーズに対応したサービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉・健康などの生活充実型サービスに対する支援</li> <li>地域課題をビジネスの手法で解決する地域貢献型事業（ソーシャルビジネス等）への支援</li> </ul>



商店街での賑わい創出イベント

### 参考指標

小売業の年間商品販売額		
5年前	現況	10年後
11,909億円 2004 (H16) 2002～2004 (H14～16) の年平均減少率2.19%	11,754億円 2007 (H19) 2004～2007 (H16～19) の年平均減少率0.44%	2011～2016 (H23～H28)の平均減少 率を0.44%以下に縮小

## 活力 8 雇用の確保と人材の育成

### 政策目標

意欲と能力に応じた多様な雇用の機会の確保と、本県産業の発展を支える人材の育成が図られ、誰もがいきいきと働いていること。

### 主な施策

魅力ある雇用創出と雇用の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな成長産業の育成や企業誘致等による、魅力ある職場の確保や新たな雇用創出</li> </ul>
U・Iターンの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「元気とやま！就職セミナー」や「Uターンフェア イン とやま」の開催、U・Iターン就職情報の提供</li> </ul>
若者の就業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県若者就業支援センターによる情報提供や相談、各種セミナー、企業説明会の開催など、若者の就業支援</li> </ul>
働く人に応じた多様な就業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「とやまシニア専門人材バンク」の設置などによる高齢者人材の活用促進</li> <li>障害者雇用の促進、女性の就業支援</li> </ul>
個性と能力を活かす職業能力開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>とやま技能継承塾等による技能の体系的な継承、若手技能者“やる気塾”など、若年労働者の基礎的能力習得の支援</li> </ul>
安心して働ける雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援</li> <li>仕事と生活の調和の実現に向けた意識啓発</li> </ul>



とやま技能継承塾での実技指導

### 参考指標

就業率（15歳から64歳）		
5年前	現況	10年後
75.0% 2005 (H17)	75.2% 2010 (H22)	75.2%以上

## 活力 9 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進

### 政策目標

新たなビジネスチャンスを求めて、県内企業の環日本海・アジア地域などでのビジネス展開や販路開拓が進むとともに、幅広い分野で取引が活発になり、国際的な物流ネットワークや経済交流が拡大していること。

### 主な施策

海外ビジネスにおけるサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>財団法人富山新世紀産業機構を中心とした情報収集、提供機能の充実</li> <li>海外販路開拓サポートデスクや貿易投資アドバイザー等による相談窓口の充実</li> </ul>
海外ビジネス・通商貿易の拡大・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業の海外展開拠点となる「とやまものづくりパーク」の体制整備</li> <li>富山県ものづくり総合見本市などの開催を通じた商談機会の創出</li> </ul>
経済交流・物流ネットワークの整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>伏木富山港の集荷力・拠点性の向上と国際定期コンテナ航路の充実</li> <li>富山空港の国際定期航空路の充実、利用促進</li> </ul>



富山県ものづくり総合見本市（2010(H22).8）

### 参考指標

伏木富山港及び富山空港における貿易額		
5年前	現況	10年後
5,303億円 2006 (H18)	3,459億円 2011 (H23)	5,300億円

## 活力10 農業生産の振興

**政策目標** 意欲ある担い手により、消費者ニーズに対応した安全で高品質な県産農産物が、安定して供給されていること。

### 主な施策

農業生産力の強化と食料自給率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山米のブランド力の向上、新規需要米の生産拡大の推進</li> <li>● 園芸作物の生産拡大とブランド力の強化</li> <li>● 高品質な畜産物の安定供給の推進</li> </ul>
意欲ある担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定農業者等への農地集積に対する助成、地域営農体制の整備</li> <li>● 経営の複合化・法人化、多角化など経営基盤強化に対する支援</li> <li>● 新規就農の促進と経営を担う人材の育成・確保に対する支援</li> </ul>
優良な農業生産基盤の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大区画ほ場の整備や農地の汎用化整備など農業生産基盤整備の推進</li> <li>● 機能保全計画に基づく農業水利施設の適切な整備・更新の推進</li> </ul>
競争力のある農産物生産に向けた技術の開発と普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費者ニーズに対応した水稻、野菜や花卉などの新品種、革新的な新技術の開発</li> <li>● 適正農業規範に基づく農業の推進</li> </ul>



水田を活用した野菜等の生産拡大(1億円産地づくり)

参考指標		
農業産出額		
5年前	現況	10年後
758億円 2005(H17)	615億円 2010(H22)	700億円

## 活力11 森林の整備と林業の振興

**政策目標** 地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材等の林産物や木材製品が安定的に供給されていること。

### 主な施策

健全な人工林の育成と生産基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 間伐等の森林整備の推進による健全な人工林の育成</li> <li>● 林道や作業道の開設など、林業生産基盤の整備</li> <li>● 高性能林業機械の導入に対する支援</li> </ul>
県産材の供給体制の強化と木材の需要拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木材加工流通施設整備への支援</li> <li>● 県産材を使用する住宅建設や公共施設の木造化・内装木質化への支援による木材需要の拡大</li> </ul>
担い手の確保・育成と森林組合等の経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の森林経営を担う人材の確保・育成</li> <li>● 林業カレッジの活用等による低コスト生産技術を有する人材の確保・育成</li> </ul>



高性能林業機械による林内作業

参考指標		
森林整備延べ面積(累計)		
5年前	現況	10年後
15,379ha 2005(H17)	25,144ha 2010(H22)	45,000ha

## 活力12 水産業の振興

**政策目標** 富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されていること。

### 主な施策

資源管理型漁業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● つくり育てる漁業の推進と藻場や魚礁の造成等による良好な漁場環境の保全・創出</li> <li>● 「全国豊かな海づくり大会」の開催(2015(H27))及び「豊かな海づくり運動」の展開</li> </ul>
安全で良質な水産物の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鮮度保持対策の徹底による安全で良質な水産物の供給支援</li> <li>● 荷捌所の改修など衛生管理対策に必要な施設整備の支援</li> </ul>
「富山のさかな」のブランド化と高付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「うまさ一番 富山のさかなキャンペーン」等PR活動の推進</li> <li>● 「富山のさかな」の高付加価値化に向けた取組みの支援</li> </ul>
担い手の育成確保と経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規就業者の確保と担い手育成の支援</li> <li>● 漁協機能の維持強化と経営改善の取組みに対する支援</li> </ul>
漁港の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防波堤、陸揚げ岸壁の屋根の整備など、漁港施設の整備</li> </ul>



キトキトフェアの開催(東京)

参考指標		
沿岸漁業の漁獲量		
5年前	現況	10年後
21,702トン 2004(H16)	21,440トン 2009(H21)	現況の2万トン程度を維持



# 活力13 北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり

**政策目標** 北陸新幹線や新幹線駅からの交通ネットワークにより、新幹線駅を核とした交流拠点が形成され、人の交流が活発になっていること。

**主な施策**

- 北陸新幹線の整備促進**
  - 北陸新幹線長野・金沢間の整備促進
  - 金沢・敦賀間の早期開業、大阪までの全線整備の促進
- 新幹線駅、駅周辺及びアクセス道路の整備促進**
  - 新幹線駅やその周辺地域の賑わいや富山らしさの創出
  - 富山駅周辺南北一体化を図る連続立体交差事業の推進
  - 新幹線駅へのアクセスが向上する道路の整備推進
- 新幹線駅と並行在来線を含めた鉄軌道・バスとの乗継ぎの円滑化**
  - 公共交通機関相互の乗継ぎの円滑化や交通ICカードの導入促進
  - 新幹線との乗継ぎのための新駅の整備促進
- 官民一体となった開業対策の推進**
  - 新幹線開業に向けた総合的な対策を推進する体制の整備
  - 県民の気運を盛り上げる民間プロジェクトに対する支援



北陸新幹線ルート図

資料：県総合交通政策室作成

参考指標		
富山駅周辺の歩行者通行量(休日)		
5年前	現況	10年後
30,201人 2007(H19)	27,791人 2010(H22)	32,000人

# 活力14 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成

**政策目標** 環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、空港・港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること。

**主な施策**

- 富山空港の機能の充実**
  - 新たな国際定期便・チャーター便の調査・研究と拡充
  - 乗継利用の利便性の向上やPR
- 伏木富山港等の機能の充実**
  - 大型船舶の接岸が可能な岸壁の整備、港へのアクセスの改善
  - 太平洋側主要港湾の代替機能を果たす物流機能の充実
  - クルーズ客船の誘致による環日本海クルーズの振興
- 環日本海・アジアにおける物流ネットワークの充実**
  - 県内外からの集荷促進や新たな物流ルートの開拓
  - 国際定期コンテナ航路の充実やフィーダー輸送の強化
  - RORO船の定期航路化等による国際・国内航路の充実



伏木富山港 RORO船への積込状況

参考指標		
伏木富山港の外貿コンテナ取扱個数		
5年前	現況	10年後
55,783TEU 2005(H17)	64,266TEU 2010(H22)	107,500TEU

※TEUは20フィートコンテナ換算本数のことで、40フィートコンテナ1本は2TEU。

# 活力15 利便性の高い道路ネットワークの整備

**政策目標** 高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること。

**主な施策**

- 高速道路ネットワーク等の整備と活用**
  - 東海北陸自動車道の全線4車線化や能越自動車道の整備
  - 富山高山連絡道路や高岡環状道路等の地域高規格道路の整備
- 地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備**
  - 主要観光地等へのアクセス道路の整備
  - 幹線道路の渋滞対策や交差点等の安全対策
  - 安全な歩行空間・自転車走行空間の確保
- 既存道路施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの形成**
  - 橋梁の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化
  - 緊急通行確保路線等に架かる橋梁の耐震化
  - 道路施設の防災対策の推進



富山大橋

参考指標		
道路の走りやすさ割合(車道幅員5.5m以上改良済み、かつ道路が円滑に走行できる延長の割合)		
5年前	現況	10年後
66.0% 2006(H18)	67.8% 2009(H21)	70%

## 活力16 情報通信基盤の充実と活用

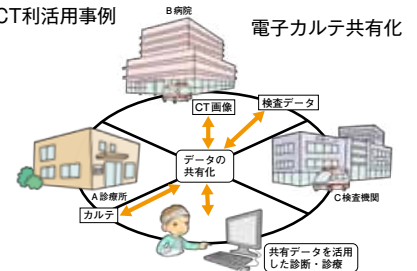
### 政策目標

あらゆる分野において情報通信技術を活用し、いつでもどこでも誰でも、情報の取得・発信や各種の手続き・取引が行えるとともに、様々なサービスを楽しむことができること。

### 主な施策

超高速ブロードバンドの全県的整備の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上下100Mbps以上の超高速ブロードバンドの全県的整備の促進</li> </ul>
あらゆる分野における情報通信技術の徹底した利活用による県民生活の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災、医療、福祉、交通分野等でのICT活用の推進</li> <li>● 自治体クラウドなどの導入による行政サービスの効率化の推進</li> </ul>
情報通信技術の利活用による新しい豊かなライフスタイルの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT人材の育成</li> <li>● SOHO等の高度情報通信ネットワークを活用した新しい働き方の普及促進</li> </ul>

### ICT利活用事例



資料：IT戦略本部「国民主権の社会を確立するための新たな情報通信技術戦略」を一部加工。

### 参考指標

上下100Mbps以上の超高速ブロードバンドサービスの世帯カバー率		
5年前	現況	10年後
—	67.7% 2010 (H22)	100%

## 活力17 快適で活力ある魅力的なまちづくり

### 政策目標

地域の個性を活かし、都市機能が適正に集積、配置された、快適で活力ある魅力的なまちが形成されていること。

### 主な施策

計画的な活力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市機能の適正かつ計画的な集約配置の推進</li> <li>● 公共交通機関の維持・活性化による県内各都市のネットワーク化の推進</li> <li>● 県内道路網の体系的な整備</li> </ul>
便利で快適に安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家・空き地対策や生活道路、公園、上下水道などの整備</li> <li>● ユニバーサルデザインによる都市基盤施設の整備推進</li> </ul>
地域の個性を活かした魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個性ある地域資源を活かした魅力あるまちづくりに対する支援</li> <li>● 魅力ある水辺空間の賑わい創出と活性化を進めるまちづくり活動への支援</li> <li>● 景観に配慮した美しいまちづくりの推進</li> </ul>



富岩水上ライン(富山県富岩運河環水公園)

### 参考指標

都市公園の面積		
5年前	現況	10年後
1,499ha 2005 (H17)	1,558ha 2010 (H22)	1,600ha

## 活力18 中心市街地の賑わいの創出

### 政策目標

中心市街地に、居住、商業、業務、文化、福祉など多様な機能が集積され、賑わいが創出されていること。

### 主な施策

まちなか居住など中心市街地への都市機能の集積	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 居住、商業、業務機能の集積や学校、文化、福祉施設などの中心市街地への立地促進</li> <li>● 市町村の中心市街地活性化基本計画等に基づく事業に対する支援</li> </ul>
中心商店街の賑わいづくりへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新幹線駅周辺と中心市街地のバランスのとれた開発・活性化の支援</li> <li>● 商店街が行う賑わいづくりに対する支援</li> </ul>
交通手段の充実とまちの回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 路面電車やコミュニティバスの充実など、中心市街地へのアクセス及びまちの回遊性の向上</li> </ul>



総曲輪通グランドプラザ

### 参考指標

中心市街地の歩行者通行量		
5年前	現況	10年後
富山市24,932人 高岡市11,326人 2006 (H18)	富山市20,155人 高岡市11,648人 2010 (H22)	富山市32,000人 高岡市14,900人

## 活力19 選ばれ続ける観光地づくり

### 政策目標

魅力ある観光資源を活かした観光地づくりやおもてなし環境の整備が進み、多くの観光客が繰り返し訪れ、滞在していること。

### 主な施策

富山らしい魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域固有の観光資源の発掘と既存の観光資源のブラッシュアップ</li> <li>● 通年観光・体験型観光・産業観光の推進</li> </ul>
都市景観や芸術文化などを活用した新たな名所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まち並み、農村景観、寺社など特徴ある観光資源の発掘と活用</li> <li>● 本県を舞台とした映画やドラマ等による富山の魅力発信</li> </ul>
戦略的な観光PRの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大都市圏等に向けた話題性のある観光PRの推進</li> <li>● 北陸新幹線開業を契機とした重点的な観光キャンペーンの展開</li> </ul>
広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北陸・飛越・信越地域との連携による広域観光ルートの形成と体制づくり</li> <li>● 2つの周遊観光ルート構想(関東・富山・中京、中京・富山・関西)の推進</li> </ul>
官民一体、県民こぞってのおもてなし環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とやま観光未来創造塾などにおける階層的な研修体系の構築・整備</li> <li>● タクシー、飲食店等の幅広い層を対象としたおもてなし力の向上</li> </ul>
コンベンションの誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力的な助成制度などコンベンション開催に向けた支援の充実</li> </ul>



観光ポスター「富山で休もう。」

参考指標		
宿泊者数		
5年前	現況	10年後
2,570千人 2007 (H19)	2,738千人 2010 (H22)	3,000千人

## 活力20 国際観光の推進

### 政策目標

本県の観光の魅力が国際的に認識され、年間を通じて、海外の様々な国・地域から、多くの観光客が訪れていること。

### 主な施策

国・地域ごとの観光ニーズに応じた誘客戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成熟市場、新規市場のそれぞれのニーズに見合った広告掲載</li> <li>● 冬の観光資源(雪、温泉、食)のPR強化</li> </ul>
多言語に対応した受入・おもてなし体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 案内看板等の多言語表記・ピクトグラム(絵文字)の充実</li> <li>● 「健康」や「癒し」をテーマとしたヘルスツーリズムの促進</li> </ul>
広域観光ルートの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小樽港、京都舞鶴港と連携した外航クルーズ客船の誘致</li> <li>● 国際定期便やチャーター便を活用した広域観光ルートのPR</li> </ul>



バスの先行の多言語表示

参考指標		
外国人宿泊者数(暦年)		
5年前	現況	10年後
80,715人 2006 (H18)	58,957人 2011 (H23)	180,000人以上

## 活力21 富山のブランドカアアップ

### 政策目標

富山ならではの優れた商品・サービスや食の魅力が、「とやまブランド」として広く認知され、評価が高まっているとともに、地域のイメージや好感度が向上していること。

### 主な施策

富山の代表的商品・サービスのブランド力の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富山県推奨とやまブランド」の魅力の国内外への発信</li> <li>● 「富山のくすり」のブランド力の維持強化</li> <li>● 伝統的工芸品の国内外へのPR・販路開拓への支援</li> </ul>
ブランド化に向けた新たな商品・サービスの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「明日のとやまブランド」など新たな「とやまブランド」の育成とブランド力向上に向けた気運の醸成</li> <li>● 地域資源などを活用した新商品開発や販路開拓への支援</li> </ul>
「食のとやまブランド」の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 首都圏の飲食店等と連携した、富山の食の魅力の発信</li> <li>● 「越中料理」の創作・普及のためのキャンペーン等の開催</li> <li>● 「富山のさかな」のブランド化の推進</li> </ul>
戦略的な富山の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県PR誌やホームページ等の多様な媒体の効果的な活用</li> <li>● 東京アンテナショップ「いきいき富山館」の充実と活用</li> </ul>
富山の地域イメージの定着・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本県を舞台とした映画やドラマ等を介した富山の魅力発信</li> <li>● 県民自身が郷土の魅力を再発見しPRする気運の醸成</li> </ul>



富山県推奨とやまブランド

参考指標		
「明日のとやまブランド」育成支援対象に選定された品目数		
5年前	現況	10年後
-	6 2010 (H22)	26

## 未来 1 家庭・地域・職場における子育て支援

### 政策目標

すべての子どもを持ちたいと願う人が、家庭や地域、職場の人々に支えられながら、安心して子どもを生み、育て、子どもを持つ喜びを実感できること。

### 主な施策

子育て家庭に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延長保育や病児・病後児保育など、多様な保育・子育て支援サービスの充実</li> <li>● 乳幼児等の医療費助成や多子世帯の保育料の軽減など、経済的負担の軽減</li> </ul>
地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「とやまっ子さんさん広場」など、異年齢の子どもや親子が集う居場所の設置促進</li> </ul>
母と子の保健医療等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立中央病院を核とした、NICUの整備など周産期医療体制の充実</li> <li>● 小児救急体制の充実及び小児科医の人材確保</li> </ul>
仕事と子育ての両立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援</li> <li>● 事業所内保育施設の設置・運営に係る助成など、両立支援に取り組む企業への支援</li> </ul>
子育て支援の気運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「とやま県民家庭の日」などを契機とする啓発活動の推進</li> <li>● 「とやま子育て応援団」制度の普及と利用の促進</li> </ul>



とやまっ子さんさん広場

参考指標		
合計特殊出生率		
5年前	現況	10年後
1.37 2005 (H17)	1.42 2010 (H22)	上昇させる

## 未来 2 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

### 政策目標

子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育てていること。

### 主な施策

子どもの権利と利益の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域ぐるみで児童虐待やいじめ等を早期に発見・対応する体制の整備</li> </ul>
子どもの健全な育成と地域の教育力の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校の余裕教室や公民館を活用した、学習・遊び・体験活動などの取組みの推進</li> </ul>
家庭の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 親自らが親の役割について学ぶ活動の推進</li> <li>● 基本的な生活習慣を身につけた元気なとやまっ子を育てる運動の推進</li> </ul>
県民みんなで育てる教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校・地域・企業が連携して家庭教育を支援する取組みの推進</li> <li>● 地域人材の活用などによる学校の教育活動を支援する取組みの充実</li> <li>● 登下校時における安全確保など、地域で子どもを守り育てる活動の推進</li> </ul>



親の役割について学ぶ活動(親を学び伝える学習プログラム活用講座)

参考指標		
放課後子ども教室等を実施している小学校区の割合		
5年前	現況	10年後
87.8% 2006 (H18)	98.0% 2010 (H22)	98.0%を維持

## 未来 3 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進

### 政策目標

子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を発揮して、未来を切り拓いていく力を育てる教育が行われていること。

### 主な施策

確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「とやま型学力向上プログラム」の充実等による確かな学力の育成</li> <li>● 「とやま科学オリンピック」の開催や探究科学科における学習など、科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進</li> </ul>
社会で生きる実践的な力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郷土への誇りと愛着、感謝の心を育むふるさと学習の推進</li> <li>● インターンシップなど、キャリア教育の推進</li> </ul>
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実践力や指導力の向上を図る教員研修の充実</li> </ul>
私立学校教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私立学校が行う特色ある教育に対する支援</li> <li>● 私立学校が行う施設・設備整備に対する支援</li> </ul>



とやま科学オリンピック

参考指標		
インターンシップ等体験率(全日制県立高校3年生)		
5年前	現況	10年後
47.0% 2006 (H18)	66.6% 2010 (H22)	75%

## 未来 4 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

### 政策目標

子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな体を育む教育や、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育む教育が行われていること。

### 主な施策

豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが生まれてよかったと実感できる、いのちの教育の推進</li> <li>いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応のための相談体制の充実</li> <li>「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、規範意識や社会性を育む教育の充実</li> </ul>
少人数教育と校種間連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数学級、少人数指導の推進</li> <li>小1プロブレム等の解消に向けた幼・保・小の連携の強化</li> </ul>
魅力と活力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての県立学校において策定した中長期ビジョン実現のための取組みの推進</li> </ul>
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育の推進</li> <li>高等特別支援学校の開設など、障害の状態に応じたキャリア教育の充実</li> </ul>



「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」(看護師体験)

参考指標		
いじめの認知件数(千人当たり)		
5年前	現況	10年後
小 11.5件 中 20.2件 2006 (H18)	小 5.8件 中 9.2件 2010 (H22)	できるだけ ゼロに近づける

## 未来 5 大学教育・学術研究・科学技術の振興

### 政策目標

大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や国内外に発信する学術研究の拠点が形成されているとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが幅広く進められていること。

### 主な施策

国立・私立大学等の教育研究体制の充実支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の確保、単位互換など、県内高等教育機関がコンソーシアムを設置して行う取組みへの支援</li> </ul>
産学官連携による科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立大学の地域連携センターや富山大学の地域連携推進機構等を通じた産学官連携の推進</li> </ul>
高等教育機関による地域連携の取組みへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人の大学・大学院への受入れによるキャリアアップの促進</li> <li>まちづくり・地域づくりへの学生の積極的な参加の促進</li> </ul>
県と高等教育機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>知の拠点としての機能を活かした地域貢献の推進</li> <li>高校での大学教員による授業など、高大連携の強化</li> </ul>
県立大学の教育研究体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的創造研究推進事業(E R A T O)など最先端の研究</li> <li>大学院工学研究科環境工学専攻の開設</li> <li>公立大学法人への移行による自主的・自律的な運営体制づくり</li> </ul>
高等教育機関の国際交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内高等教育機関の学生の海外留学の促進</li> </ul>



教育研究の推進(授業風景)

参考指標		
競争的資金の獲得状況(文部科学省の科学研究費補助金の採択件数)		
5年前	現況	10年後
305件 2005 (H17)	396件 2010 (H22)	450件

## 未来 6 生涯をととした学びの推進

### 政策目標

すべての世代の県民が、それぞれの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

### 主な施策

多様な学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県民生涯学習カレッジの学習講座の開催</li> <li>学習の成果を活かしたボランティア活動や地域活動の推進</li> </ul>
県民の学習を支える基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>とやま学遊ネットなど、ICTを利用した学習情報の収集、提供</li> <li>高志の国文学館の活用等による学習サービスの向上を図る取組みの推進</li> </ul>
キャリアを磨く実践的な学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援</li> <li>高等教育機関が行う公開講座や高度かつ専門的な教育の充実</li> </ul>



県民カレッジでの家庭看護講座(高校生と社会人がともに学ぶ)

参考指標		
生涯学習の人口10万人当たり年間開催講座数(うち民間講座数)		
5年前	現況	10年後
818講座 (152講座) 2004 (H16)	978講座 (590講座) 2007 (H19)	1,200講座 (800講座)

## 未来 7 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

**政策目標** 県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいること。

### 主な施策

学校におけるふるさと学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと富山やわが国の自然、歴史や文化などに関する学習活動の推進</li> <li>地域の魅力を学ぶ身近な地域の調査や自然体験活動等の充実</li> </ul>
家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとの歌の制作・普及促進など、ふるさと富山への誇りと愛着を育む取組みの推進</li> <li>ふるさとの優れた先人について、志や業績を子どもたちが理解する機会の充実</li> </ul>
高志(こし)の国(くに)文学館を拠点としたふるさと文学の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>越中万葉から近・現代までの富山県ゆかりの文学の魅力の紹介</li> <li>ふるさと文学に親しみ・学ぶ機会や、深く調べ・発表し、創作する場の提供</li> <li>散逸する恐れのある富山県ゆかりの貴重な文学資料の収集・保管</li> </ul>



郷土の先人を紹介した「ふるさととやまの人物ものがたり」

参考指標		
県内に自信をもって誇れるものがたくさんあると思う人の割合		
5年前	現況	10年後
32.2% 2006 (H18)	28.2% 2011 (H23)	増加させる

## 未来 8 芸術文化の振興

**政策目標** 県民一人ひとりが幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加するとともに、世界に誇ることのできる芸術文化が創造・発信されていること。

### 主な施策

文化活動への幅広い県民の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なところで、誰でも優れた芸術文化を鑑賞する機会の拡充</li> <li>練習や発表、批評など、県民の多彩な芸術文化活動の場の確保</li> <li>全国高等学校総合文化祭の開催など、次世代を担う子ども・青少年の文化活動の充実</li> </ul>
質の高い文化の創造と世界への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジアを代表する舞台芸術の拠点「TOGA」における創造・交流・発信</li> <li>とやま世界こども舞台芸術祭、世界ポストスタートリエンナーレトヤマなど、特色ある国際的な芸術文化振興事業の充実と発信</li> </ul>
文化と他分野の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化を活かした観光モデルコースの設定・PR</li> <li>万葉集全20巻朗唱の会や布橋灌頂会など、地域の文化資源を活かしたまちづくり、賑わい創出の支援</li> </ul>



とやま世界こども舞台芸術祭2012の開催(H24年7～8月)(フィナーレ公演)

参考指標		
県立文化ホールの利用率		
5年前	現況	10年後
60.4% 2005 (H17)	64.2% 2009 (H21)	70.0%

## 未来 9 多様な主体による社会貢献活動の推進

**政策目標** NPOやボランティアが幅広い人々の参加のもと、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動していること。

### 主な施策

ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>入門からリーダー育成までの体系的な研修などを通じた人材育成</li> <li>災害救援ボランティア活動の強化</li> <li>消防・防災活動や自主防犯活動等への参加促進</li> </ul>
地域貢献に取り組むNPOの活動基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOに対する助成やマネジメント力の強化支援</li> </ul>
NPOと行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案公募型協働事業の実施など、NPOと県、市町村との連携・協力体制の推進</li> </ul>
多様な主体が公共サービスを担う環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民すべてが公を担う「新しい公共」の意識の醸成</li> </ul>



東日本大震災での災害救援ボランティア活動

参考指標		
ボランティア活動者数		
5年前	現況	10年後
56,121人 2005 (H17)	61,108人 2010 (H22)	75,000人

# 未来10 若者の自立促進とチャレンジ支援

## 政策目標

若者が社会の一員として自立しているとともに、元気な職場づくり・地域社会づくりの中心となって、いきいきと活躍していること。

## 主な施策

若者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山県若者就業支援センター、若者サポートステーションを中心とした若者の就業、自立を総合的に支援する体制の強化</li> <li>● 高等学校等におけるキャリア教育の促進</li> </ul>
若者の社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生、大学生等のボランティア意識の向上と地域行事活動などへの参加促進</li> </ul>
生命を尊び家族を形成する心を育む環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生と乳幼児との異年齢交流など、生命の尊さを学ぶ機会の充実</li> <li>● 男女の出会いの場の提供など、出会いサポートの充実</li> <li>● 結婚や家庭を持つことの意義等を啓発する活動の推進</li> </ul>



高校生の赤ちゃんふれあい体験

参考指標		
若者の就業率(15歳から34歳)		
5年前	現況	10年後
65.8% 2005 (H17)	64.8% 2010 (H22)	64.8%以上

# 未来11 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮

## 政策目標

男女を問わず、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されるとともに、経済・社会の活性化に向けて女性の意欲と行動力が最大限に活かされていること。

## 主な施策

政策・方針決定過程への女性の参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政における審議会などへの女性の参画や女性の管理職への登用の促進</li> <li>● 事業者等に対する女性の登用・活躍促進に向けた働きかけ</li> <li>● 様々な分野における女性人材育成の支援</li> </ul>
家庭・地域における男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男性が育児等を担うことに対する意識改革の推進</li> <li>● 学校における男女平等に関する指導の充実</li> </ul>
働く場における男女共同参画の推進と女性のチャレンジ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所内保育施設の設置促進など、仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備</li> <li>● 一般事業主行動計画の策定支援など、仕事と生活の調和の実現に向けた取組みの推進</li> </ul>
男女間の暴力の根絶と人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暴力を許さない社会の実現に向けた教育・啓発活動の推進</li> <li>● DV被害者の相談・保護体制の充実、被害者の自立支援体制の強化</li> </ul>



男性向けの家事応援講座(父親と子どもの料理教室)

参考指標		
女性の管理職比率		
5年前	現況	10年後
3.4% 2000 (H12)	4.8% 2005 (H17)	11%

# 未来12 元気な高齢者の活躍の場の拡大

## 政策目標

元気な高齢者が、年齢にとらわれることなく、その意欲と能力に応じて、生涯を通じて活躍することができ、職場や地域社会において積極的な役割を担っていること。

## 主な施策

高齢者の意欲や能力に応じた就業・起業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シルバー人材センターの活動への支援や、「とやまシニア専門人材バンク」の設置などによる高齢者人材の活用促進</li> <li>● 定年の引上げ等による高齢者の安定した雇用の確保の推進</li> </ul>
高齢者の社会活動への参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「65歳以上は老人」という意識の転換を図るための普及啓発</li> <li>● 高齢者の社会活動への参加の促進</li> <li>● 地域の社会参加活動等に取り組む老人クラブへの支援</li> </ul>
子ども・若者など異世代との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育施設等でボランティア活動を実施できる高齢者人材の発掘</li> <li>● 伝統文化を子どもたちに伝承する活動への支援</li> </ul>
高齢者の生涯学習や生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催(2018(H30))による高齢者のスポーツ・健康づくりの気運の醸成</li> <li>● 県民歩こう運動等による健康づくりの推進</li> </ul>



世代間交流のついでに高齢者によるマジック

参考指標		
65歳から69歳の就業率		
5年前	現況	10年後
39.9% 2005 (H17)	40.5% 2010 (H22)	40.5%以上

## 未来13 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成

**政策目標** 誰もが互いの人権や多様な価値観を尊重し、相互の信頼や連帯感のもと自立意識の高い地域社会が形成されていること。

### 主な施策

人権や思いやりの心を大切に する教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育に関する研修の充実や指導者の養成</li> <li>●命を大切にする心や思いやりの心を育てる学習機会の充実</li> </ul>
DV、児童虐待、いじめなど 人権課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暴力や虐待などの人権侵害の早期発見、早期対応に向けた相談体制や救済・支援ネットワークの充実</li> </ul>
開かれた県民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あいさつ運動や地域ボランティア活動への参加の促進</li> </ul>
地縁組織、NPOなど地域コ ミュニティ活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地縁組織やNPO等と行政との協働の推進</li> <li>●多様な分野における地域コミュニティ活動の促進</li> </ul>



中学生と車椅子/バスケットボールクラブの方との交流活動(思いやりの心を育てる学習機会の充実)

参考指標		
地域活動に参加している人の割合		
5年前	現況	10年後
67.1% 2006 (H18)	65.9% 2011 (H23)	70%

## 未来14 グローバル社会における地域づくり・人づくり

**政策目標** 外国人にとっても県民にとっても暮らしやすい地域づくりが進んでいるとともに、環日本海地域やアジアをはじめとする各国地域との幅広い交流・協力のもと、グローバルに活躍する人材が集い、育っていること。

### 主な施策

多文化共生の地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多言語による生活情報の提供、生活相談の充実</li> <li>●外国人児童生徒の学習をサポートする取組みに対する支援</li> <li>●外国人住民の地域参加の促進</li> </ul>
グローバルに活躍する人材の 積極的な受入れ・育成と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アセアン地域等からの優秀な留学生の受入れ拡大</li> <li>●優秀な外国人留学生の県内企業への就職促進</li> <li>●JICAボランティアへの参加促進に対する支援</li> </ul>
多様な国際交流・協力活動へ の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●富山ファン倶楽部など、本県滞在経験者のネットワークの充実と活用</li> <li>●北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) への支援など、環日本海地域等における環境協力活動の推進</li> </ul>



外国人児童への学習サポート(多文化こども勉強室(高岡市野村児童センター))

参考指標		
外国人留学生数		
5年前	現況	10年後
503人 2006 (H18)	571人 2011 (H23)	721人

## 未来15 交流人口の拡大、定住・半定住の促進

**政策目標** 首都圏をはじめとした大都市圏等との交流人口が拡大し、U・I・Jターンなどの県内への移住や、季節滞在などの半定住(交流居住)が増大していること。

### 主な施策

定住・半定住の舞台としての 富山の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「くらしたい国、富山」ホームページによる情報発信</li> </ul>
交流人口の拡大に向けた取組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県外大学等の県内における合宿への支援</li> <li>●質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」の開催</li> </ul>
定住・半定住ニーズの掘り起 こしと体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定住希望者のニーズに応える定住ツアーの実施</li> <li>●宿泊型の田舎暮らし体験事業などによる農村地域への定住の促進</li> </ul>
受入体制の整備と定住・半定 住後の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●富山での生活を試行するための短期滞在型生活体験施設の整備支援</li> <li>●定住者相互のネットワークづくりの支援</li> </ul>



富山での田舎暮らし体験(とやま帰農塾)

参考指標		
富山県への県外からの転入者数		
5年前	現況	10年後
14,880人 2005 (H17)	12,664人 2010 (H22)	12,500人



# 未来16 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見

**政策目標** 県内各地域において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘、再発見するとともに、さらに磨き上げ、次の世代へ継承する活動が活発に行われていること。

## 主な施策

地域の魅力の発掘・再発見の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界遺産登録に向けた活動を通じた富山の魅力の再発見と全国への情報発信</li> <li>●映画等撮影の誘致、受入体制の充実</li> </ul>
地域の良さや魅力を磨き上げる活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「とやま未来遺産」をはじめとする地域資源を活かし、魅力を磨き上げる地域活動への支援</li> </ul>
伝統文化の保存・継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国・県指定文化財の保存修理等の推進</li> <li>●伝統文化を保存・継承する人材の育成・確保</li> </ul>
歴史・伝統文化など地域の魅力を活かしたまちづくり・賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水辺を活かした賑わいの創出と魅力ある水辺のまちづくり活動への支援</li> <li>●歴史的・文化的資源を活かした個性あふれるまちづくりへの支援</li> <li>●散居村など美しい田園景観の保全活動や啓発活動への支援</li> </ul>



富山県を舞台とする映画の撮影 (C) 2011「RAILWAYS 2」製作委員会

参考指標		
地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数		
5年前	現況	10年後
22法人 2006 (H18)	44法人 2010 (H22)	75法人

# 未来17 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり

**政策目標** 豊かで美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観づくりが行われるとともに、歴史や文化を活かしたまち並みづくりが進められていること。

## 主な施策

歴史・文化など地域の個性を活かした景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の景観に調和した建築物の誘導、修景事業への支援など、観光振興にも資する美しいまちづくりの推進</li> <li>●ふるさと眺望点のPRの強化や眺望景観の保全</li> </ul>
美しい沿道景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●違反屋外広告物の早期改善、ガイドラインによる良質な屋外広告物への誘導</li> <li>●市街地等における道路の無電柱化の推進</li> </ul>
県民参加の景観づくり活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●景観づくり住民協定の締結や市町村の景観づくり事業への支援</li> </ul>



富山湾越しの立山連峰 (ふるさと眺望点)

参考指標		
良好な景観形成が必要な道路の無電柱化率		
5年前	現況	10年後
—	50.1% 2010 (H22)	64%

# 未来18 農山漁村の活性化

**政策目標** かけがえのない自然、新鮮で安全な食、伝統文化、自然エネルギー等の地域資源の活用や、都市住民との交流などにより、個性豊かな魅力ある農山漁村が形成されていること。

## 主な施策

豊かな地域資源の保全・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域ぐるみの農地、農業用水、里山などの保全・管理への支援</li> <li>●農業用水を利用した小水力発電など、地域資源を活用した取組みの推進</li> </ul>
中山間地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農作業支援や特産品の開発などの地域活性化活動に対する支援</li> <li>●捕獲したイノシシなどの食肉利用に対する支援</li> <li>●耕作放棄地の発生防止策の推進</li> <li>●農産物の加工・販売など、6次産業化の取組みに対する支援</li> </ul>
都市との交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●棚田オーナー制度や農林漁業体験などを通じた都市との交流への支援</li> <li>●市町村等と連携したグリーン・ツーリズムの推進</li> </ul>



農産物・加工品の直売施設

参考指標		
農村環境の保全を目指す集落数		
5年前	現況	10年後
380集落 2005 (H17)	1,247集落 2010 (H22)	1,300集落

## 未来19 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり

### 政策目標

県民の参加により、豊かで多様な「とやまの森」が整備・保全されているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること。

### 主な施策

多様な森づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民の協働による里山林の整備</li> <li>● カシノナガキクイムシ被害跡地の復旧や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及</li> </ul>
とやまの森を支える人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア等の活動支援</li> <li>● 森林教室（森の寺子屋）の開催など、森林環境教育の推進</li> </ul>
県民緑化運動の推進と花と緑あふれる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富山さくらの名所」の魅力の県内外への発信</li> <li>● 道路や水辺、公園や学校などに花と緑があふれる地域づくりの推進</li> </ul>



森林ボランティアによる森づくり活動

参考指標		
県民参加による森づくりの年間参加延べ人数		
5年前	現況	10年後
1,672人 2005 (H17)	10,262人 2010 (H22)	13,000人

# 安心 1 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成

**政策目標** 高齢者、障害者、子どもなど県民だれもが、住み慣れた地域でいきいきと健康に生活でき、共に支え合う共生社会が形成されていること。

**主な施策**

県民の保健・福祉意識の高揚	● 福祉フォーラムの開催など、福祉に関する啓発活動の推進
在宅医療・介護の推進	● 開業医等の連携・グループ化の支援や訪問看護ステーションの機能強化など、在宅医療を支える体制の充実 ● 小規模多機能型居宅介護事業所などの地域密着型による高齢者介護サービス事業所の整備の促進
地域ぐるみで支え合う仕組みづくりの推進	● ケアネット活動等による地域福祉活動の推進 ● 地域の様々な福祉ニーズに対応する富山型デイサービス施設の整備促進
多様な保健・福祉ニーズに対応できる人材の養成・確保	● 高校生への介護体験学習などによる介護職場の人材確保 ● 新人介護職員への指導体制の整備など、職員の定着支援の充実
利用者本位のサービスの提供と利用者保護の充実	● 福祉サービス第三者評価制度の推進
生活環境のバリアフリーの推進	● 低床バス・低床路面電車の導入など、公共交通機関や公共施設等のバリアフリーの推進



富山型デイサービス

参考指標		
富山型デイサービス施設設置数		
5年前	現況	10年後
37か所 2005 (H17)	86か所 2011 (H23)	200か所

# 安心 2 医療提供体制の充実

**政策目標** すべての県民が、けがや病気の状況に応じて、必要なときに安心して質の高い、患者本位の医療を受けることができること。

**主な施策**

医療サービス提供体制の整備	● 県立中央病院NICU（新生児集中治療管理室）・MFICU（母体・胎児集中治療管理室）など周産期医療体制の整備 ● 新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター（仮称）の整備
医療サービスネットワークの強化と医療安全の確保	● カルテ情報共有化など、地域医療連携基盤の整備に対する支援 ● 救急病院間の連携強化など、地域医療連携の体制づくり
医師や看護職員、薬剤師などの人材の養成確保と資質の向上	● 小児科、産科、麻酔科や救急部門における医師の養成確保 ● 新卒・若手看護職員の定着支援や働きやすい勤務環境の整備・充実 ● 修学資金貸与制度の活用による医師・看護職員の県内定着の促進
医薬品、血液等の安定供給と安全性の確保	● 医薬品等の安全情報収集・提供体制への支援、品質・安定供給の確保 ● ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進



県立中央病院 新東病棟（精神科・産科[MFICU]）(2011(H23)年3月運用開始)

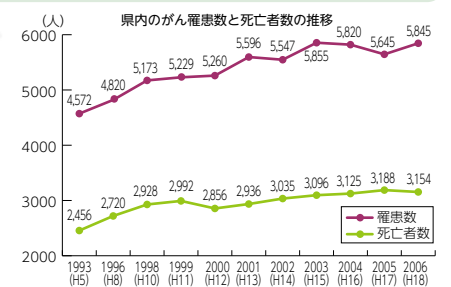
参考指標		
医師数（人口10万人当たり）		
5年前	現況	10年後
238.3人 2006 (H18)	241.0人 2010 (H22)	270人

# 安心 3 健康づくりと疾病対策の推進

**政策目標** 望ましい生活習慣の実践や適切な疾病対策などにより、県民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送っていること。

**主な施策**

運動習慣の定着	● 県民歩こう運動の展開等による運動習慣の定着 ● ライフステージに応じた健康づくりの取組みの支援
望ましい食生活への改善	● 食育と運動した健康づくりの推進 ● 食生活改善推進員等が実施する改善活動等への支援
こころの健康づくり	● こころの健康に関する研修の充実などによるうつ病やひきこもり等の対策の推進 ● 市町村等と連携した総合的な自殺防止対策の推進
総合的ながん対策の推進	● がん診療連携拠点病院やPET画像診断センター等を中心とした質の高い医療の提供など、富山型がん診療体制の充実
周産期保健医療体制の整備	● 総合周産期母子医療センター（県立中央病院）を中心としたNICUやMFICUなどの整備
感染症など各種疾病対策の推進	● 新型インフルエンザ等の新興感染症に対する防疫体制の強化 ● 「富山県リハビリテーション支援センター」を中心とする県全体の地域リハビリテーション体制の充実



資料：人口動態統計（厚生労働省）、富山県がん疫学調査（富山県）

参考指標		
がん死亡率（人口10万人当たり）		
5年前	現況	10年後
85.2人 2005 (H17)	79.7人 2010 (H22)	63.7人以下

## 安心 4 高齢者福祉の充実

**政策目標** 高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられること。

### 主な施策

高齢者の健康・生きがい対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老人クラブ等が実施する健康づくりや地域社会活動等への支援</li> <li>● 見守り、話し相手、買物代行、除雪など、高齢者を対象とした生活支援サービスの充実</li> </ul>
介護サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開業医等の連携・グループ化などによる、いつでも往診や訪問看護が受けられる体制の整備</li> <li>● 緊急時に在宅療養者が利用できる医療系ショートステイ専用病床の確保</li> </ul>
在宅と施設のバランスのとれた介護サービス基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山型デイサービス施設、小規模多機能型居宅介護事業所などの整備促進</li> <li>● 特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備促進</li> </ul>
認知症高齢者対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民等による認知症高齢者見守りネットワークの充実</li> <li>● 認知症疾患医療センターの設置など、医療と介護の連携の充実</li> </ul>



訪問看護

参考指標		
介護を必要としない高齢者の割合 (要支援・要介護認定を受けていない高齢者の割合)		
5年前	現況	10年後
83.8% 2006 (H18)	82.7% 2010 (H22)	83.1%

## 安心 5 障害者福祉の充実

**政策目標** 障害の有無にかかわらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重しながら支え合うとともに、障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を営んでいること。

### 主な施策

地域での自立と社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループホームの充実など、地域生活における住まいの確保</li> <li>● 富山型デイサービス施設の整備や地域福祉活動(ケアネット活動)など、地域ぐるみで支え合う仕組みづくりの推進</li> </ul>
サービス提供体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活や就労に必要な訓練などニーズに応じたサービスの充実</li> <li>● 新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター(仮称)の整備</li> </ul>
多様な障害に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達障害者支援センター、高次脳機能障害支援センター、難病相談・支援センターを中心とした相談・支援機能の強化</li> </ul>
障害者の雇用・就労の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害の態様に合わせた職業訓練の実施など、障害者の円滑な就労に向けた支援</li> <li>● 工賃向上支援の充実・強化</li> <li>● 高等特別支援学校の開設など、就労支援の仕組みの充実</li> </ul>



新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター(仮称)完成イメージ図

参考指標		
ホームヘルプサービス利用者数 (1か月当たりのホームヘルプサービスを利用した人数)		
5年前	現況	10年後
390人 2006 (H18)	479人 2010 (H22)	1,350人以上

## 安心 6 食の安全確保と地産地消・食育の推進

**政策目標** 安全な食品が供給され、誰もが食品の安全性に関する情報を適時的確に入手することができるとともに、県民自らが地場産食材を積極的に活用し、「食」に関する知識と理解を深めていること。

### 主な施策

食品の安全性に関する情報の受発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい知識の普及啓発と消費者等からの相談への対応</li> <li>● ホームページによる食品安全に関する情報提供</li> </ul>
食品の安全性の確保と適正な表示の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適正農業管理(GAP)や衛生管理などに対する指導の徹底</li> <li>● 食肉検査など、食品の安全確認体制の強化</li> </ul>
県民ぐるみの地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直売所やインショップの開設等の支援</li> <li>● 学校給食における地場産食材の活用に対する支援</li> </ul>
富山の食に着目した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富山型食生活」や望ましい食習慣などの情報の提供</li> <li>● 若者やヤングファミリー世代の食育の推進</li> </ul>



富山型食生活モデルメニュー

参考指標		
学校給食での地場産食材使用割合		
5年前	現況	10年後
25% 2007 (H19)	30%以上 2010 (H22)	30%以上

## 安心 7 スポーツの振興

### 政策目標

県民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。

### 主な施策

県民がスポーツに親しむ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気軽にスポーツに参加できる機会づくりの推進</li> <li>● スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設の開放の推進</li> </ul>
学校等における体育・スポーツの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の望ましい生活・運動習慣の定着と体力向上の推進</li> <li>● 学校の体育授業の充実や運動部活動の活性化</li> </ul>
全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 優れた運動能力を秘めた児童の発掘・育成など一貫指導体制の推進</li> <li>● トップアスリートを県民総ぐるみで支援する体制づくりの推進</li> </ul>
スポーツを支える人材の養成及び活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のスポーツ指導者やボランティアの確保と活用</li> <li>● スポーツ指導者の意識改革や資質の向上</li> </ul>
プロスポーツと連携した地域の魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロスポーツチームが取り組む県民参加型イベントなどの地域活性化事業に対する支援</li> </ul>



2012北信越かがやき総体での活躍

参考指標		
総合型地域スポーツクラブへの加入者数		
5年前	現況	10年後
34,142人 2006 (H18)	39,640人 2011 (H23)	50,000人

## 安心 8 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

### 政策目標

県民一人ひとりが、廃棄物の排出抑制や循環的利用などに積極的に取り組むとともに、温室効果ガス排出量の削減に向けた行動を実践していること。

### 主な施策

廃棄物の排出抑制、循環的利用等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコ・クッキングなど、廃棄物の排出抑制・再使用の推進</li> <li>● 事業系生ごみの広域的リサイクルシステムの検討など、廃棄物の循環的利用の促進</li> </ul>
温室効果ガス排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「メガ節電所」のウェブサイト上への開設など、省エネルギーの取組みへの支援</li> <li>● 住宅用太陽光発電システム導入への支援や小水力発電所の建設など、再生可能エネルギーの導入促進</li> </ul>
環境教育の推進と環境保全活動の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅広い年齢層に対する環境教育の推進</li> <li>● ノーレジ袋県民大運動など、エコライフ実践の促進</li> </ul>
技術開発と調査研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境にやさしい製品等の普及や省エネルギー等の技術開発の推進</li> <li>● 戦略的創造研究推進事業 (ERATO) 等を活用したホワイトバイオテクノロジーに関する開発研究の推進</li> </ul>



地球温暖化防止活動推進員による地球温暖化の学習

参考指標		
一般廃棄物再生利用率		
5年前	現況	10年後
18.9% 2004 (H16)	20.5% 2009 (H21)	25%以上

## 安心 9 自然環境の保全

### 政策目標

自然に対する理解が深まるとともに、生物多様性の確保や、人と自然との共生の取組みが進み、豊かで美しい自然が保全されていること。

### 主な施策

自然保護思想の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナチュラリスト及びジュニアナチュラリストの養成、ナチュラリストによる自然解説活動の実施</li> </ul>
自然とのふれあい創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然公園等における歩道や案内施設、外国語案内板等の整備</li> <li>● フォレストリーダーによる森林・林業に関する体験活動(森の寺子屋)の実施</li> </ul>
自然環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県土美化推進運動や自然公園におけるクリーン作戦の展開</li> <li>● 環境配慮型公衆トイレ・山小屋トイレの整備</li> </ul>
生物多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「レッドデータブックとやま」改訂版の普及啓発</li> <li>● ライチョウ等の希少野生生物の保護対策の推進</li> <li>● 「豊かな海づくり運動」の展開など海洋環境保全の推進</li> </ul>
人と野生鳥獣との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ツキノワグマ、ニホンザル等の野生鳥獣のモニタリング調査など、保護管理の推進</li> </ul>



ジュニアナチュラリストの養成

参考指標			
ナチュラリストとジュニアナチュラリストの認定者			
	5年前	現況	10年後
ナチュラリスト	607人	727人	900人
ジュニアナチュラリスト	162人	243人	520人
	2006 (H18)	2011 (H23)	

## 安心10 生活環境の保全

**政策目標** 多くの県民の実践により、きれいでさわやかな大気、豊かで清らかな水など安全で健康的な生活環境が確保されていること。

### 主な施策

環境の状況の把握や環境汚染の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 微小粒子状物質の監視体制の整備など、大気保全対策の推進</li> <li>● 水質保全対策、地下水保全対策の推進</li> </ul>
環境改善対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境汚染事故に対する適切な対応の推進</li> <li>● 地域の実情に応じた効率的な汚水処理の普及促進</li> <li>● ダイオキシン類汚染底質の改善対策の推進</li> </ul>
県民等による自主的な環境保全活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコドライブなど、県民参加で取り組む環境保全活動の推進</li> <li>● 環境保全に取り組む人づくりの推進</li> </ul>
環日本海地域における環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海辺の漂着物調査など、産学官が連携したプロジェクトの推進</li> <li>● 北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の活動の支援</li> </ul>
イタイタイ病の教訓の継承と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立イタイタイ病資料館における貴重な資料の収集・保存</li> <li>● 小・中学校の課外授業等の積極的な受入れ</li> <li>● ホームページ等を活用した国内外への情報発信</li> </ul>



県立イタイタイ病資料館(2012(H24)年4月開館)

参考指標		
水質環境基準の達成率		
5年前	現況	10年後
河川:100% 海域:76% 2005(H17)	河川:100% 海域:100% 2010(H22)	河川:100% 海域:90%以上

## 安心11 水資源の保全と活用

**政策目標** 空から山、平野、川等を経て富山湾に至る水の循環と県民の諸活動との調和が図られ、水資源が有効に活用されるとともに、地域に根ざした水文化が継承されていること。

### 主な施策

水源の保全と涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健全で機能の高い森づくりの推進</li> <li>● 水田を活用した地下水涵養、「地下水の守り人」の養成など、地下水保全対策の普及促進</li> </ul>
小水力発電など水資源の有効利用と多面的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小水力発電の推進や消流雪、防火など水の多面的利用の促進</li> </ul>
水環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生物の生息環境に配慮した「多自然川づくり」の推進</li> <li>● やすらぎ空間の提供など、水辺の空間の質的向上の推進</li> </ul>
水を活かした文化・産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力ある水辺空間の賑わい創出と活性化を進めるまちづくり活動への支援</li> <li>● 名水の保全と活用、水を利用した産業・観光の振興</li> </ul>



河川愛護ボランティア活動(鴨川:魚津市)

参考指標		
水文化に関する活動に取り組んでいる団体数		
5年前	現況	10年後
119団体 2005(H17)	182団体 2010(H22)	210団体

## 安心12 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保

**政策目標** 豊かな県民生活や活発な産業経済活動を支えるため、多様なエネルギー源のベストミックス(最適な組み合わせ)や省エネルギー構造への転換により、エネルギー需給の安定が図られていること。

### 主な施策

再生可能エネルギーの導入促進によるエネルギーの多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小水力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入促進</li> </ul>
エネルギーの効率的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートコミュニティの形成に向けた取組みの促進</li> <li>● 県民、事業者による省エネルギーの取組みへの支援</li> </ul>
エネルギー関連技術の研究開発などグリーンイノベーションの加速化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境・エネルギー関連技術の開発支援やスマートコミュニティ関連産業の振興</li> </ul>



臼中発電所(農業用水を利用した小水力発電)

参考指標		
小水力発電所の整備箇所		
5年前	現況	10年後
12か所 2005(H17)	16か所 2011(H23)	28か所

## 安心13 生活交通の確保

### 政策目標

県民の生活を支える身近な公共交通サービスが安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できること。

### 主な施策

地域公共交通の維持活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄軌道の安全性向上への取組みや民営バス・コミュニティバスの運行維持等への支援</li> <li>●交通ICカードの導入促進など公共交通の利便性向上</li> </ul>
人にやさしい公共交通サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●低床車両導入や、駅舎など交通結節点のバリア解消の取組みへの支援</li> </ul>
並行在来線の安定経営と利便性確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●並行在来線運営会社の設立と安定経営の確保</li> <li>●新駅設置の検討</li> <li>●県民のマイレール意識の醸成</li> </ul>



万葉線アイトラム(高岡市・射水市)

参考指標		
鉄軌道・バスの利用率(1人当たりの年間利用回数)		
5年前	現況	10年後
38.5回 2005(H17)	38.8回 2010(H22)	40回

## 安心14 住生活の向上

### 政策目標

耐震性やバリアフリー性能等を備えた地球環境にもやさしい住まいで、それぞれのライフステージに応じて豊かな住生活が営まれていること。

### 主な施策

住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化等の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震診断及び耐震改修工事に対する支援など、木造住宅の耐震化の促進</li> <li>●住宅のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化の促進</li> </ul>
住宅市場の環境整備と住宅セーフティネットの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安心して住宅を取得できる住宅性能表示制度の普及</li> <li>●高齢者等の居住の安定を図るための公営住宅の活用</li> </ul>
まちなかや散居村等田園地域の住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちなか居住を誘導する市街地再開発事業等の推進</li> <li>●散居村など田園地域の優れた住環境の整備</li> </ul>
本県の気候・風土、伝統・文化と調和した住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の環境と調和した住宅及び伝統工法を活かした木造住宅の普及促進</li> <li>●県産材住宅の普及促進</li> </ul>



住宅の耐震改修工事

参考指標		
住宅の耐震化率		
5年前	現況	10年後
63% 2003(H15)	68% 2008(H20)	85%

## 安心15 雪に強いまちづくり

### 政策目標

降積雪時においても、県民生活に支障がなく、産業経済活動が円滑に進められるとともに、豊かな雪の文化が継承・創造されていること。

### 主な施策

雪害のないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●堆雪帯の設置や消雪施設の更新等の推進</li> <li>●除雪オペレーターや除雪機械の確保など、安定的な除雪体制の維持</li> <li>●地域の住民等による除雪ボランティア活動の促進</li> </ul>
雪害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スノーシェットの整備など、道路の安全な通行の確保</li> <li>●雪崩防止柵等の整備による安全確保</li> </ul>
雪の文化の継承と創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雪国の伝統的な生活文化の保存・継承</li> <li>●冬期イベント等の実施による冬の富山の魅力のアピール</li> <li>●克雪、利雪、親雪に関する調査研究・技術開発等の支援</li> </ul>



豪雪にも対応した除排雪体制

参考指標		
冬期走行しやすさ割合(消融雪施設が設置されるなど積雪に対応した道路延長の割合)		
5年前	現況	10年後
48.8% 2006(H18)	51.1% 2010(H22)	58%

## 安心16 県土保全の推進

### 政策目標

水害や土砂災害などから県民の生命や財産を守るための施設等が整備され、災害に強い県土が形成されていること。

### 主な施策

治山・治水・土砂災害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害発生危険度の高い箇所における治山施設の重点的な整備</li> <li>● 堤防の建設や川幅の拡幅など河川整備の推進</li> <li>● 利賀ダムの建設促進、既存ダムの再開発</li> <li>● 砂防・地すべり・急傾斜地崩壊防止施設の着実な整備</li> <li>● 山林・河川・ダムの管理者などとの連携による流木対策の推進</li> <li>● 保安林の指定などによる森林の保全、治山施設の整備と併せた森林整備の推進</li> </ul>
津波・高波・海岸侵食対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防、護岸、人工リーフなど、海岸整備の推進</li> <li>● 飛砂・潮風・強風・高潮被害地での海岸保安林の造成・整備</li> </ul>
市街地等の浸水被害を軽減する総合的な浸水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浸水対策計画の策定と計画に基づく河川・排水路等の整備</li> <li>● きめ細かな防災情報の提供など、浸水被害軽減対策の推進</li> </ul>
公共施設の計画的・効率的な維持管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 橋梁等の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減や修繕・更新費用の平準化など、計画的な施設管理の推進</li> <li>● 河川管理施設の効果的、効率的な維持管理の推進</li> </ul>



面的な海岸保全施設の整備(富山海岸)

参考指標		
河川整備率		
5年前	現況	10年後
54.2% 2005 (H17)	54.9% 2010 (H22)	57%

## 安心17 防災・危機管理体制の充実

### 政策目標

県民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、地域での防災力が向上しているとともに、火災や自然災害はもとより、原子力災害、大規模テロや新型コロナウイルス等の新たな危機が万一発生した場合への備えが整えられていること。

### 主な施策

災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時の避難場所となる公園や、避難路となる道路の整備の推進</li> <li>● 災害監視や防災情報の提供を行うシステムの整備充実</li> <li>● ハザードマップの作成支援及び土砂災害警戒区域等の指定・周知</li> <li>● 救援・救護体制、緊急交通・輸送体制の整備</li> </ul>
消防体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防組織の広域化や消防救急無線のデジタル化、消防・救急資機材の高規格化の推進</li> </ul>
自主防災組織の充実等による地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主防災組織の結成促進と活動の充実</li> <li>● 災害時要援護者の避難支援体制の整備</li> <li>● 地域における防災リーダーとなる防災士の養成</li> </ul>
災害に対応できる人づくりをはじめとする防災拠点施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域消防防災センターの機能強化</li> <li>● 多くの県民への各年代に応じた防災教育の推進</li> </ul>
総合的な危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合的な原子力災害対策等の充実</li> <li>● 災害時の事業継続のための業務継続計画(B C P)の策定</li> <li>● 国民保護、地域防災計画等を踏まえた実践的な訓練の拡充強化</li> </ul>



富山県広域消防防災センター 主訓練塔(高さ45m)

参考指標		
自主防災組織の組織率		
5年前	現況	10年後
44.8% 2006 (H18)	66.2% 2011 (H23)	77%

## 安心18 地震防災対策の充実

### 政策目標

地震災害に備えた施設整備や体制づくりが進み、県民の生命、身体及び財産が守られているとともに、地震災害発生時には、速やかで的確な応急対策や復旧・復興対策が行われる体制が整備されていること。

### 主な施策

震災予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域消防防災センターにおける高度で実践的な訓練や防災教育の実施</li> <li>● 自主防災組織が実施する地震・津波避難訓練、津波に備えた資機材整備</li> </ul>
地震に強い県土・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害拠点病院・学校等の耐震性確保、木造住宅の耐震化の促進</li> <li>● 公共土木施設等の地震対策の充実、津波ハザードマップの作成支援</li> </ul>
震災応急対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフライン施設などの迅速な応急復旧対策の推進</li> <li>● D M A T 等における資機材整備など、災害医療体制の充実</li> <li>● 市町村等における非常食・生活必需品の備蓄の確保</li> <li>● 他都道府県等との連携強化など、広域的な災害時応援体制の充実</li> </ul>
震災復旧・復興対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就労支援、被災者生活再建支援金の支給など被災者の生活再建支援対策の充実</li> </ul>
地震に伴う原子力災害対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緊急時通信連絡訓練や除染訓練など、原子力防災訓練の実施</li> <li>● 住民等への情報伝達体制の整備と原子力防災に関する知識の普及啓発</li> <li>● 環境放射線モニタリング体制、飲食物の摂取制限等の措置を行う体制の充実</li> </ul>



県総合防災訓練

参考指標		
津波ハザードマップの作成市町(沿岸9市町)		
5年前	現況	10年後
-	1市 2011 (H23)	9市町



# 安心19 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり

**政策目標** 犯罪や交通事故の発生しにくい環境づくりが進み、県民が安全で安心して暮らすことのできる社会が実現していること。

## 主な施策

地域ぐるみの防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町村及び地区安全なまちづくり推進センターの活動の活性化</li> <li>●関係機関・団体との連携による防犯活動の推進</li> </ul>
防犯活動を支える幅広い人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間パトロール隊などの担い手の育成</li> <li>●県民の防犯活動への参加促進に向けた普及啓発活動の推進</li> </ul>
児童等の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校への不審者の侵入防止対策の推進</li> <li>●学校安全パトロール隊などの子どもの見守り活動への支援</li> </ul>
交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者等に対する交通安全対策の推進</li> <li>●通学路における歩道の整備など、安全・安心な道路交通環境の確保</li> </ul>
警察機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽警察署等の計画的な整備、警察署の耐震化</li> <li>●組織化、広域化、巧妙化する犯罪の質的变化を踏まえた警察機能の充実</li> </ul>



警察による防犯活動

参考指標		
交通事故の発生件数・死者数		
5年前	現況	10年後
7,308件 73人 2006 (H18)	5,163件 50人 2011 (H23)	5,000件以下 43人以下

# 安心20 消費生活の安全の確保

**政策目標** 県民誰もが、消費者トラブルに巻き込まれず、また、医薬品の安全性などに不安を感じることなく、安心して生活を送っていること。

## 主な施策

安全・安心な消費生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町村の消費生活相談体制の整備への支援</li> <li>●消費者教育の推進や被害の未然防止のための啓発活動等の充実</li> </ul>
医薬品や危険物の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医薬品の有効性・安全性・品質の確保、薬物乱用防止の普及啓発の推進</li> <li>●高圧ガス、毒物など危険物等の安全管理の促進</li> </ul>
衛生的な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲食店、理・美容所、公衆浴場など生活衛生営業関係施設への衛生管理指導の充実</li> <li>●食品製造・取扱業者への指導や消費者への情報提供による食の安全対策の推進</li> </ul>



悪質商法撃退教室

参考指標		
消費生活相談解決率		
5年前	現況	10年後
98.4% 2005 (H17)	98.7% 2010 (H22)	100%に 近い水準

# 基本政策を支える重要政策「人づくり」

## 重要政策「人づくり」

### 社会状況の変化

#### ■ 人口減少・少子高齢化の進展

- ・労働力の減少、消費需要の減少による経済活力の減退
- ・社会保障給付の増加、若い世代の負担増

#### ■ 産業構造・雇用の変化

- ・終身雇用・年功序列など従来の雇用慣行の変化
- ・労働力需要の変化と労働市場のミスマッチ
- ・非正規雇用の増加
- ・企業などの人材育成機能の低下
- ・経済の低成長

#### ■ グローバル化の進展

- ・国際競争の激化、新興国の台頭
- ・ヒト・モノ・カネの流動化
- ・企業の採用活動のボーダーレス化

#### ■ 価値観の多様化、地域コミュニティの弱体化

- ・三世同居の減少、核家族、高齢者世帯の増加
- ・若者の未婚化、晩婚化の進行
- ・若年無業者（いわゆるニート）やフリーターの増加
- ・地域の間人関係の希薄化、コミュニティ機能の弱体化
- ・社会的モラルの低下

### 富山県の目指す人づくり

#### ■ 一人ひとりが可能性を開花させ、輝いて生きる人づくり

自らの可能性を最大限に発揮しながら、いきいきと働き暮らし、活躍する人材の育成

#### ■ 新たな価値の創造にチャレンジし、グローバル社会を生き抜くたくましい人づくり

国際的な視野に立ち、夢や目標を持って、新たな価値の創造に積極果敢に挑戦するたくましい人材の育成

#### ■ 地域を支え、絆をつなぐ人づくり

ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にしながらコミュニティの再生や地域の活性化に活躍する人材の育成

### ライフステージごとのテーマと取組み

#### 子ども

#### 「将来を担う人材の基礎づくり」

- ・優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成
- ・変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成
- ・ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にすることの育成

#### 若者

#### 「成長と自立、社会参加・社会貢献の促進」

- ・若者がたくましく成長するための支援
- ・若者の職業的自立の支援
- ・若者の社会の一員としての自立の促進

#### 働き盛り

#### 「能力を発揮できる環境づくり」

- ・経済・産業の発展を支える人材が能力を発揮できる環境づくり
- ・コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり
- ・女性の意欲と能力が活かされる環境づくり

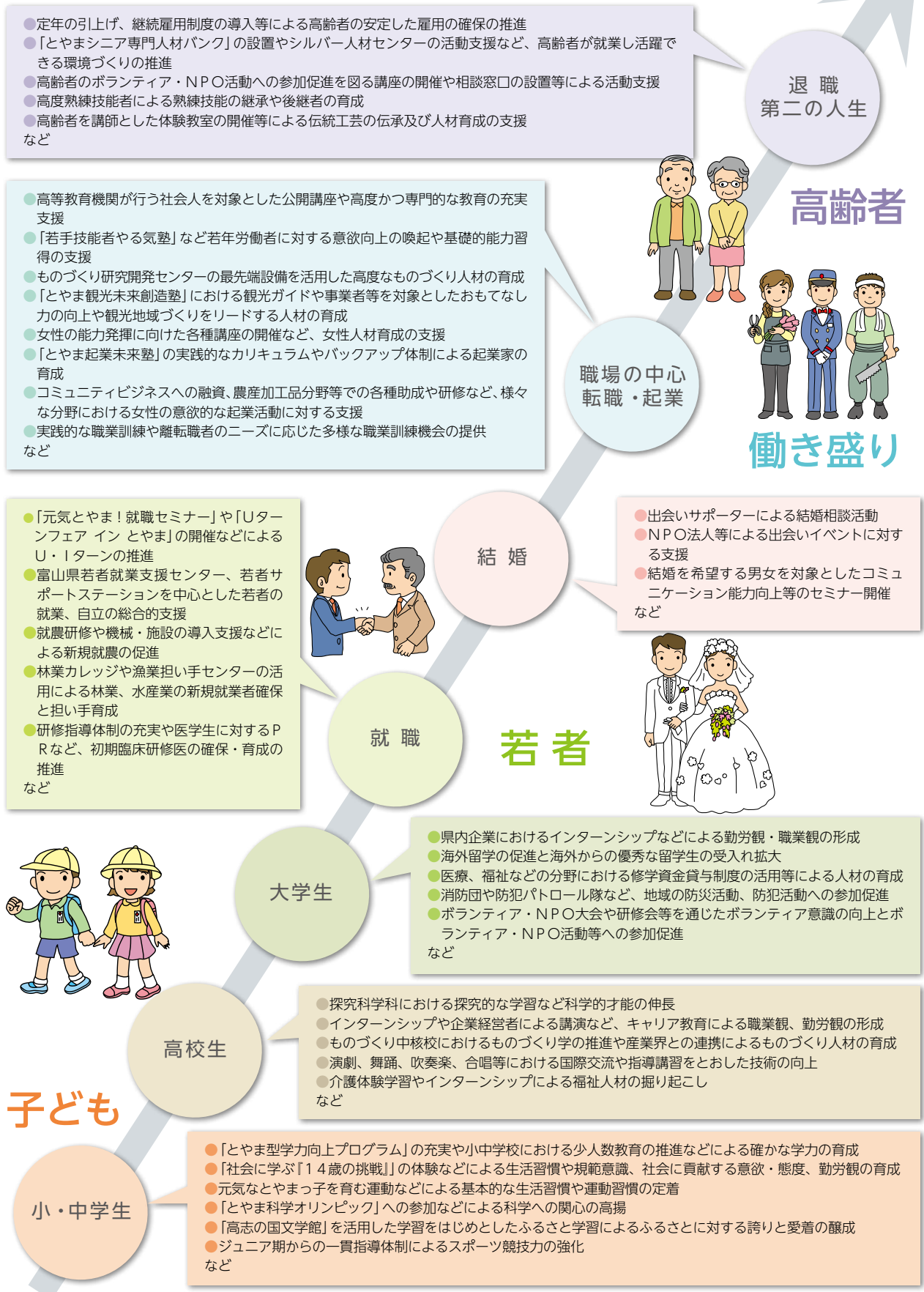
#### 高齢者

#### 「エイジレス社会の実現に向けた活躍の場の拡大」

- ・元気な高齢者の就業・起業支援
- ・高齢者の地域貢献活動の支援
- ・高齢者の知識や経験、技能の継承

# 各ステージでの人づくり (イメージ図)

～多様な人生設計が可能に！～



# 地域別の特性と取組み

目指すべき将来像の実現に向けた政策は全県的に取り組んでいくこととしていますが、一方で、県民の価値観やニーズはますます多様化し、県内各地域はそれぞれの特色ある地域資源を活用しながら、個性を磨き上げ、魅力ある地域づくりを進めることが求められています。

この計画では、それぞれの取組みを各地域の特性や課題を踏まえて進めていきます。

**高岡・射水地域** 高岡市、射水市、氷見市  
面積549.09km<sup>2</sup> 人口321,375人

高速交通網や港湾等広域的な交通基盤の整備が進められ、環日本海・アジアの交流拠点としての発展が期待されるとともに、金属製品等の産業や伝統産業が盛んなほか、歴史・文化や豊かで美しい自然環境に恵まれた多彩な地域。

〈取組みの方向〉

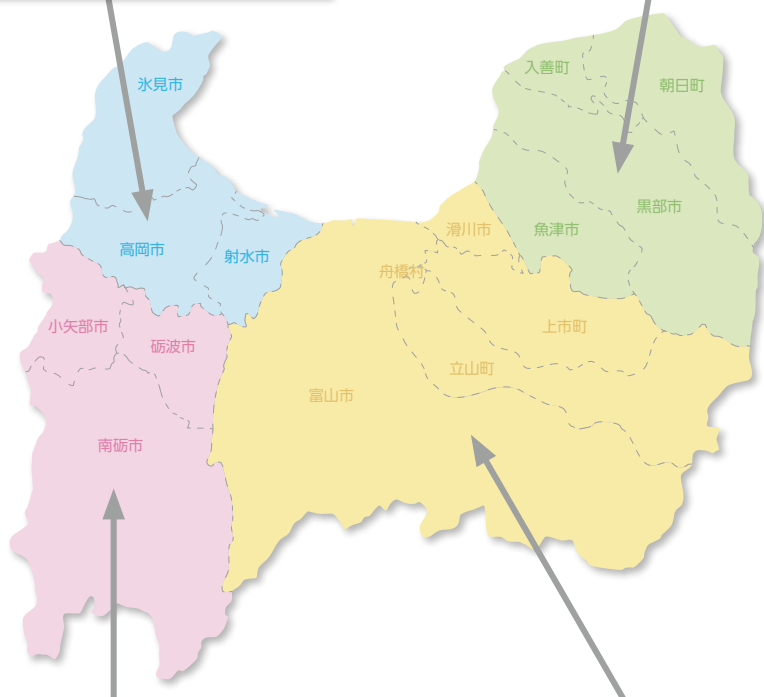
- ・アルミ関連産業や高岡銅器・漆器等伝統産業の振興
- ・ブリ、シロエビ等特産物のブランド力の強化、農産物直売所を活用した地域活性化に向けた取組みなど、農林水産業の振興
- ・観光の振興(国宝瑞龍寺、山町筋のまち並み、海王丸パーク等の資源の活用、地引き網体験等)
- ・新幹線新高岡駅(仮称)、高岡駅を核とした交通ネットワークの充実と周辺地域の活性化、伏木富山港(伏木地区、新湊地区)の整備促進
- ・伝統文化の保存・継承(高岡御車山祭、やんさんま、各地の曳山行事や獅子舞等)

**新川地域** 魚津市、黒部市、入善町、朝日町  
面積924.58km<sup>2</sup> 人口127,644人

雄大な北アルプスの豊かな自然環境を背景として、金属製品や電子部品、一般機械等の産業が集積するとともに、自然、伝統文化等の観光資源に恵まれ、活発な交流が行われる賑わい豊かな地域。

〈取組みの方向〉

- ・アルミ関連、電子部品、深層水関連産業等の振興
- ・りんご、ジャンボ西瓜など特産物の生産拡大、深層水を利用した養殖など農林水産業の振興
- ・観光の振興(黒部峡谷、宇奈月温泉、埋没林、ヒスイ海岸などの資源の活用等)
- ・新幹線新黒部駅(仮称)を核とした交通ネットワークの充実と周辺地域の活性化
- ・伝統文化の保存・継承(魚津の「たてもん」、<sup>あけび</sup>「明日」の稚児舞等)



**砺波地域** 砺波市、小矢部市、南砺市  
面積929.93km<sup>2</sup> 人口136,201人

一般機械等の産業、伝統産業や特色ある農林水産業が展開されるとともに、歴史・文化、伝統芸能、散居村等の観光資源に恵まれており、全線開通した東海北陸自動車道の活用等により、交流人口の増加が期待される、魅力あふれる地域。

〈取組みの方向〉

- ・電子部品、金属製品、一般機械産業や井波彫刻など伝統産業等の振興
- ・チューリップ球根、干柿等の特産物のブランド力の強化など農林水産業の振興
- ・観光の振興(五箇山合掌造り集落、となみチューリップフェア、利賀芸術公園等の活用等)
- ・東海北陸自動車道を活かした企業誘致など地域振興の推進
- ・伝統文化の保存・継承(五箇山の合掌造り集落、麦屋まつり・こきりこ祭り、出町子供歌舞伎、源平火牛まつり等)

**富山地域** 富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町  
面積1,844.01km<sup>2</sup> 人口508,027人

高度なものづくり産業や研究機関等が集積し、活発な経済活動が行われるとともに、豊かで美しい自然や特色ある歴史・文化などに恵まれた、個性豊かな中核都市地域。

〈取組みの方向〉

- ・医薬品、一般機械、深層水関連産業等の振興
- ・梨等の特産物のブランド力の強化、栽培漁業センターの整備など農林水産業の振興
- ・観光の振興(立山黒部アルペンルート、八尾、岩瀬、大岩などのまち並みの活用、富山のくすりなどの産業観光、ほたるいか観光、なし狩りなどの体験型観光)
- ・広域的な交通基盤である北陸新幹線、伏木富山港(富山地区)等の整備促進、富山空港の機能充実
- ・伝統文化の保存・継承(越中おわら風の盆、滑川のネプタ流し、布橋灌頂会、上市のおとんぼ焼き等)

(※面積、人口とも平成22年10月1日現在)



この計画では、目標年次を2021（平成33）年度に設定していますが、さらに長期的な展望に立ち、将来の富山県の飛躍につながる夢のある構想も提示しています。

## 1.世界のものづくり拠点 構想

県内の研究開発拠点・高付加価値拠点の強化による次世代技術、最先端技術の開発の推進、環日本海・アジア地域のゲートウェイ機能のさらなる充実、活発に国際ビジネスが行われる基盤の整備などを通じ、世界のものづくり拠点として発展することを目指します。



## 2.医療・健康・福祉のリーディング拠点 構想

医薬品やライフサイエンスの分野における世界的な研究開発・生産拠点の形成を図るとともに、地域での医療の充実や共生社会づくりにより、身近な地域において健康で安心して暮らし続けることができる県づくりを進め、国内外に誇れる医療・健康・福祉のリーディング拠点として発展することを目指します。

## 3.富山がリードする食と農の王国 構想

本県の米、魚、特産品等、全国に誇りうるおいしい食材が国内外に通用する製品となるよう、戦略的な食品や生産・流通技術の開発、安全かつ衛生的な生産の促進、ブランド化や農産物の輸出等に取り組みます。あわせて、環境問題や地域活性化、世界的な食料問題への対応などの問題解決にも貢献していきます。



## 4.文化・知の交流のハブ 構想

文化、観光、教育、県民生活、企業活動など様々な分野で国内外の人々とのつながりを形成・強化し、本県が世界における文化・知の交流の中核として発展していくことを目指します。

## 5.環境トップランナーとやま 構想

環境にやさしいライフスタイルづくりを推進するとともに、環境に配慮した快適で、安心して出かけられるまちづくりを進め、県民が真に暮らしの豊かさを感じられる、世界の中の環境トップランナーとして発展することを目指します。

## 6.世界の宝「立山・黒部」発信 構想

立山連峰の魅力を再発見して積極的に発信していくとともに、その保全と、観光、教育、産業など様々な分野での利活用を一層推進していきます。また、東アジア、欧米、オセアニア地域など国外からも多くの人々が訪れる世界的な山岳観光地を目指します。



## 7.豊かな海と水の王国とやま 構想

本県の豊かで清らかな水資源を大切に守り、その魅力を積極的に発信するとともに、富山湾の特徴を活かした海洋観光の振興や海洋資源の活用など、観光・産業・健康など様々な分野での利活用を一層推進し、世界的な「海と水の王国」を目指します。



# 県政運営の基本姿勢

計画に基づく県づくりを着実に進めるとともに、新しい時代に適応した政策の展開を図るため、県では、以下の基本姿勢で県政運営を進めていきます。

- 1 オープンでわかりやすい県政
- 2 県民の自立と幸せを重視する県政
- 3 スピード重視の県政
- 4 現場重視で効率的な県政
- 5 市町村、地域の自立と支援
- 6 「とやまから日本を変える」改革と創造



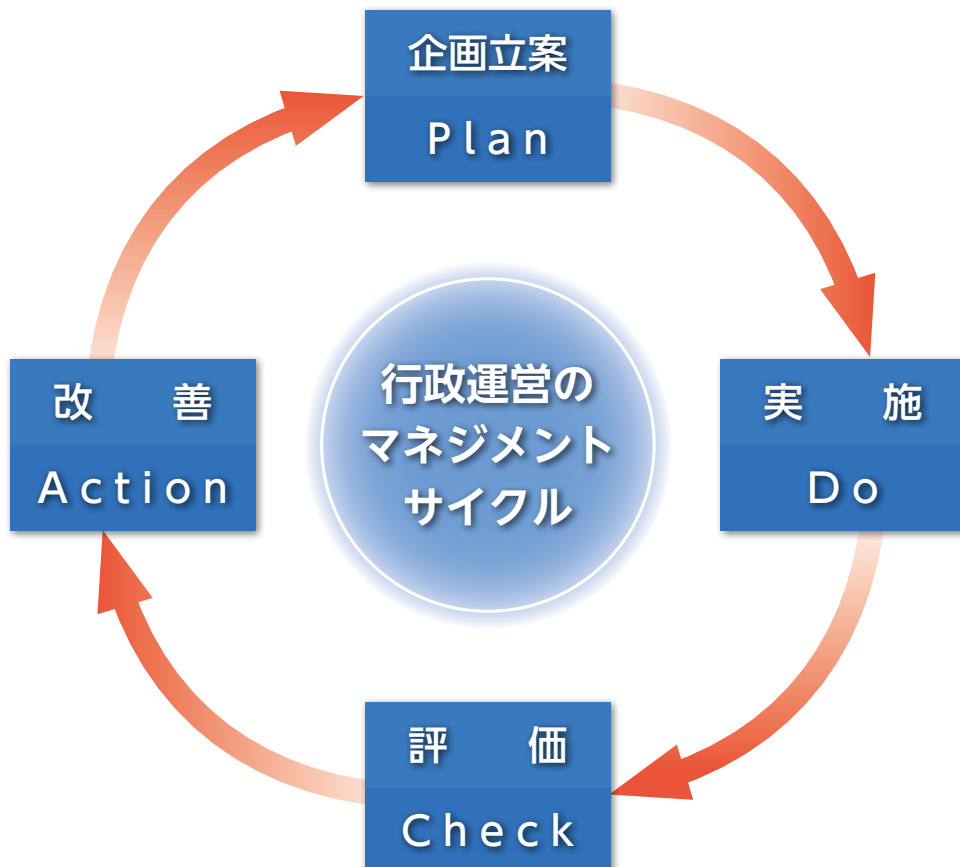
県民と知事との対話

## 計画の実効性の確保と推進

### 計画の実効性の確保

この計画では、計画、実行、評価、改善のP D C Aサイクルによるマネジメントシステムを活用して計画の実効性を確保していきます。

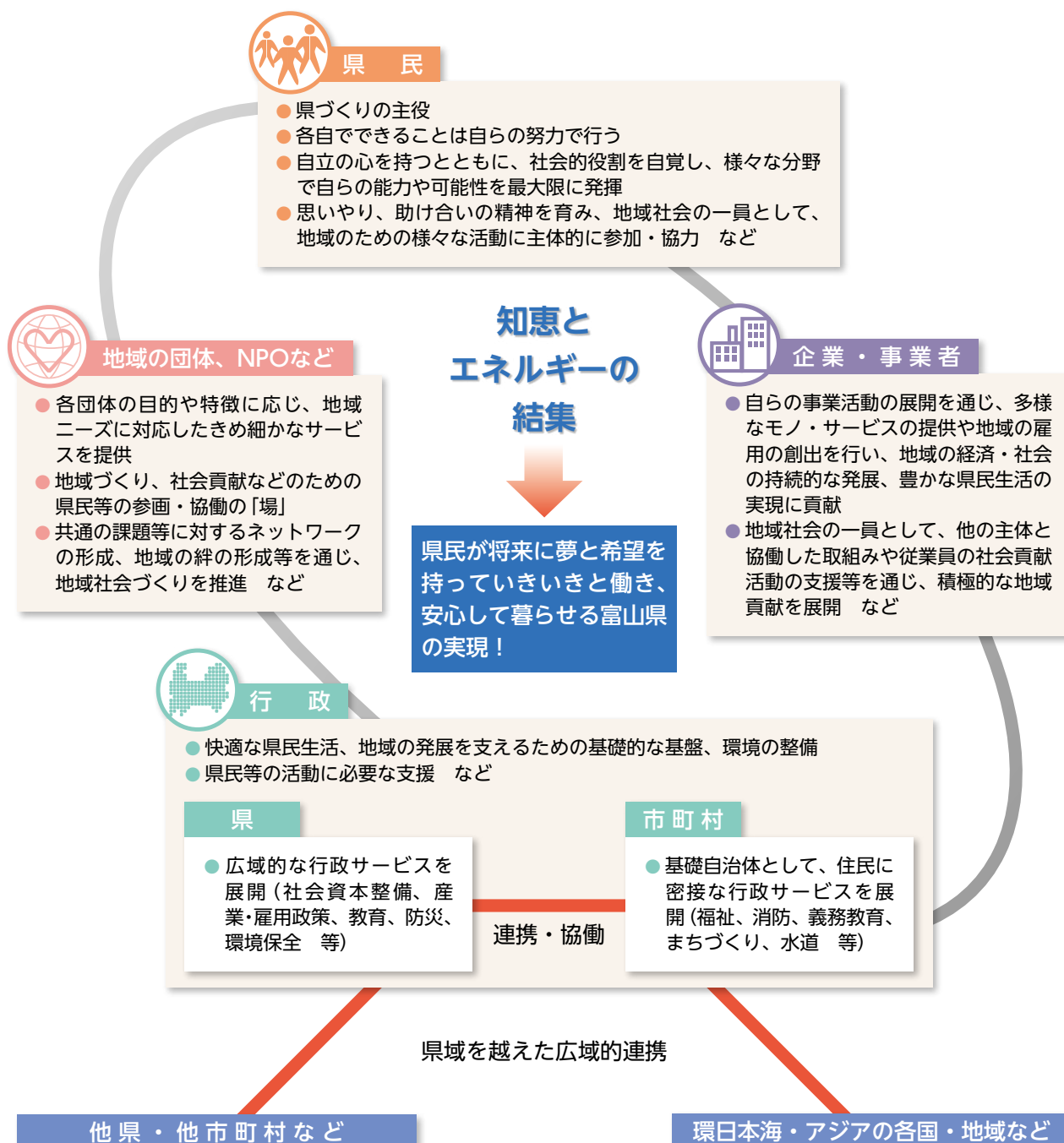
計画に掲げた政策については、マネジメントシステムなどによって評価及び必要に応じた改善等を行いながら、社会経済情勢の変化にも柔軟に対応した取組みを展開していきます。

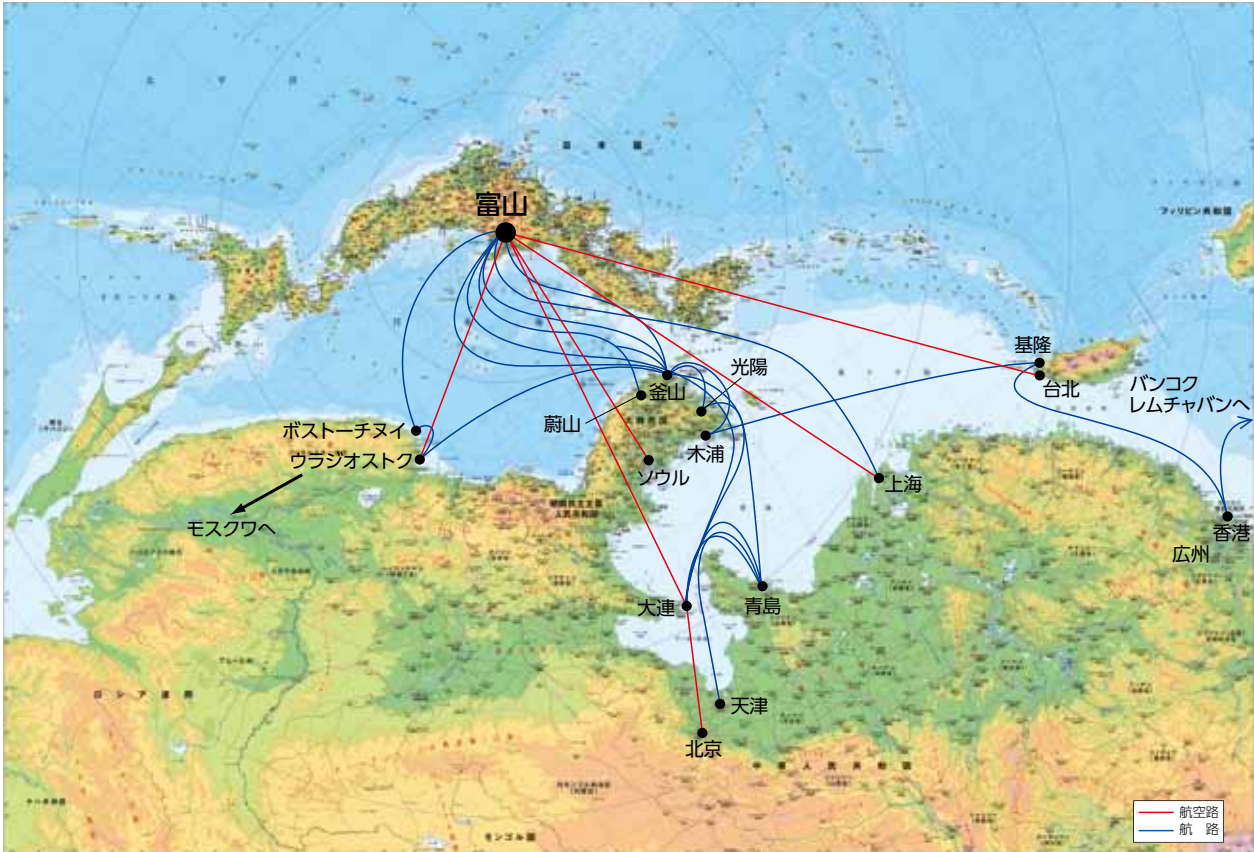


## 計画の推進

この計画の推進にあたっては、県や市町村だけでなく、地域の団体やNPO、企業、一人ひとりの県民など様々な主体が、それぞれの役割を担い、知恵とエネルギーを結集して、取組みを進めていく必要があります。

各主体が役割を担い、総力を結集した県づくり





環日本海・東アジア諸国図 (通称: 逆さ地図)

この地図は、富山県が平成24年に国土交通省国土地理院長の承認を得て作成したものです。本県は、環日本海・アジア地域の交流拠点として、富山空港及び伏木富山港から対岸諸国への航空路・航路の整備を進めています。



## 富山県総合計画「新・元気とやま創造計画」【概要版】

平成24年8月 発行

富山県知事政策局 総合計画担当 TEL 076-444-4058

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

「新・元気とやま創造計画」は、富山県のホームページ上の「新・元気とやま創造計画 (H24) について」から詳しく見ることができます。